

愛 知 県 知 事 殿

名古屋市長

検証実施報告書

令和6年8月21日付け6災対第476―1号で事業を決定された後、検討したペット受入体制を基に検証を実施しましたので、令和6年度ペット同行避難対策事業実施要領第9の規定に基づき、下記のとおり提出します。

記

|      |                                                             |
|------|-------------------------------------------------------------|
| 実施日  | 令和 7 年 1 月 19 日                                             |
| 実施場所 | 名古屋市立〇〇小学校                                                  |
| 内容   | 1 参加者<br>2 検証方法<br>3 検証項目<br>4 検証の結果、顕在化した問題点とその改善案<br>5 総評 |

※ 検証の様子が分かる写真を添付すること。  
※ 関係機関との協議書、改訂した避難所運営マニュアルなど、事業により作成された成果物を添付すること。

## 1 参加者

計 66 人

内訳： 区役所 7（うち総務課 4、保健センター 3）  
市役所 8（うち防災危機管理局 5、健康福祉局 3）  
県 1、有識者 1、小学校 1（教頭）  
名古屋市他区 8、他都市 4、NPO（災害ボランティア）4  
一般住民 30※、公職者 2（市議 1、県議 1）

※ 災害救助地区本部委員、保健環境委員、動物愛護推進員を含む

ペット（生体）は、小型犬 1 匹が参加。ほかに小型犬 1 匹、猫 1 匹の参加を予定していたが、それぞれ飼主またはペットの体調不良により参加を見合わせた。

## 2 検証方法

前半：有識者による講習および訓練の概要説明

後半：効果検証のために訓練として実施

今回は、主に初動期を対象とした訓練を行い、以下の点について検証を行う。

- ・ 飼い主がペットと共に避難して来た際、作成した避難所運営マニュアル（スターターキットを含む。）により適切に対応できるか確認。
- ・ 実際に飼主にペットと共に〇〇小学校に避難してもらい、初動対応としてペット受付の設営および複数のペット避難スペース（候補）を設営し、ペット避難スペースの適否について確認。

## 3 検証項目

### (1) 検証したペット受入体制の内容及びその評価

・ 初動期（災害発生当日）

#### a 避難所運営のために使う場所の指定

##### ○ ペット避難スペースの考え方

本市では、ペット避難スペースについて、「アレルギーのある方や動物が苦手な方と、ペットと同行避難される方の双方に配慮し、避難者の生活場所とは別の場所を選び」、また「避難所閉鎖後の清掃、洗浄等により原状復帰が容易な場所を選定する」こととしており、これを踏まえて、軒下、自転車置き場、テント等、風雨をしのげ、飼主によるペットの管理ができる場所をペット避難スペースとしている。

検証会場である〇〇小学校においては、従前は、風雨をしのげ、避難者の動線と直接重ならない場所として、「渡り廊下」を指定していた。しかし、施設管理者である学校からは、授業再開の際に児童の通学・給食配膳の動線に重なるとして、見直しを求められていた。

今回、検証に先立つ 11 月に、地域住民、施設管理者（学校）、行政の三者で、有識者を交えた協議を行い、ペット避難スペース候補の適否について協議した。

有識者からは、複数の候補地に条件等を付けて検討することは有効であると助言を受

けたことから、複数の場所をペット避難スペース候補とし、検証を経て計画(〇〇小学校における避難所運営マニュアル)の更新を行うこととした。また、在宅避難も有効な手段の一つと助言を受けたことから、今回の訓練の場において、ペット同行避難者に対して在宅避難の有効性を啓発することとした。

#### 〇〇小学校におけるペット避難スペース候補と検証結果(概要)

| ペット避難スペース候補           | 検討時に想定した<br>メリット／デメリット     | 検証結果                                           |
|-----------------------|----------------------------|------------------------------------------------|
| ① 体育館北側               | ○屋根壁あり                     | 特段問題なし<br>→利用可とする                              |
| ② プールサイド              | ○逸走対策<br>○大型犬係留可<br>△屋根壁なし | ×生活用水となるプールの水を<br>汚染する可能性あり<br>→利用不可とする        |
| ③ クラブハウス              | ○室内<br>△施錠されている            | △一般避難者が使う可能性あり<br>○同伴避難も可能<br>→当初利用不可とする(状況次第) |
| ④ 一輪車練習場所<br>(ほか校庭遊具) | ○大型犬係留可<br>△屋根壁なし          | 風雨以外は問題なし<br>→利用可とする(学校や地域のテントと合わせて利用)         |

※「屋根壁なし」は、手を加えない状態を指し、テントやブルーシート等の資材を利用して改善できる余地はある。

実際に検証したところ、上記②のプールサイドのように、検討時に想定していなかったデメリットが明らかになるところもあった。これらについては、いったんは利用不可とするもの、状況に応じて利用可とするものなど対応は分かれたが、デメリットが明らかになったことにより、それらが解消するか、または他の候補地と比較することで、状況に応じて使用できるものと考えられる。また上記④の一輪車練場所(ほか校庭遊具)のように、学校や地域のテントを合わせて使うことで利用可になるなどの提案もあり、発災初期から使える避難スペースが複数確保できると思われる。

以上のことから、ペットの避難スペースを考える際には、風雨がしのげるといった物理的な環境のほかに、鍵の管理、他の避難者・施設利用者の使用スペースとの近接性や動線の関係、また原状回復の容易さ等に着目して考えることが重要であると考えられた。また、各関係者の観点から検討・検証を行うことが必要であり、避難スペースの選定にあたっては、避難者・避難所管理者となる(地域住民)と、施設管理者との話し合いが必要である。

#### b 避難してきた人々の受け入れ場所の指定

##### ○ ペット飼養者の受け入れ場所の考え方

本市では、飼主の受け入れ場所について特段の考えや指定はない。飼い主を含む避難者は、あらかじめ定めた体育館などの避難スペースに避難することとしている。また、あらかじめ定めた避難スペース以外にも避難者数や避難生活の状況等に応じて使用することとしている。

避難所固有のルール(町内ごとに避難スペースをまとめるなど)や飼主の心身の都合で他の避難者とスペースを分けざるを得ない場合(要配慮者の福祉避難スペース利用など)があることから、一律に飼主の避難スペースを指定することは難しいが、飼主同士がまとまって避難することは、飼主同士の共助を促す上で有用と思われるため、ペット同行避難のマニュアル等に一例として記載することが考えられる。

また、今回、有識者から提示された NPO 法人アニス(以下「アニス」)のペット避難受付様式には、飼主に連絡が取れるよう、連絡先(電話番号)のほかに、避難所における居場所を書く欄があることから、本市の様式に取り入れる(欄として設ける、または備考欄の記載に例示するなど)も有用と思われた。

以上のことから、飼主の受け入れ場所を考える際には、飼主および飼主間の連絡の取りやすさに着目して考えることも重要であると考えられた。

また、ペット避難スペース候補として、室内であるクラブハウスの検証を行ったが、地域住民との事後協議では、通常の避難スペースとして使う可能性もあることから、当初から自由に使えるペット避難スペースにはしないものの、状況に応じてペット同伴避難も可能なスペースとの認識で一致した。

## c 避難してきた人々の受付

### ○ ペット連れの避難者の受入方法の考え方

本市では、避難者の受付に際し、「避難所ペット登録台帳」に記入することをマニュアルに定めている。

今回の検証では、ペット受付のみで避難者受付は設けなかったため、今後は避難者受付からペット受付の流れ、受付同士の位置関係など、さらに検証が必要であるものの、スターターキットを用いてペット連れの避難者のみで受付の立ち上げを行うことができた。

## d 利用者の組分け

特になし

## e 情報収集・伝達手段の確保

### ○ ペットに関する情報収集・伝達手段の考え方

本市では、飼主同士協力するとしているものの、具体的な方法やツールについては定められていない。

今回、一般避難者用とは別に、ペットに関する情報掲示板を作成すると良いとの助言を受けて、場所をペット受付付近とし、掲示板の表示を予め備え、スターターキットの指示書にペット情報掲示板の設置を指示することとした。

検証では掲示板の設置にとどまり、具体的な情報収集・伝達までは行えなかったが、一



般避難者向けの掲示板と分けることで、情報の散逸を防ぐという点で有効な方法であると考えられた。今回はペット受付とともに屋外に設置されたが、風雨対策を今後検討する必要があると考えられる。

#### f 備蓄している水や食料、物資の確認・配給

##### ○ 備蓄物資の検討

本市の指定避難所に備蓄している一般的な資機材については、資料 04「備蓄物資及び指定避難所資機材ガイドブック」のとおり。また、今回の検証会場である〇〇小学校に備蓄している物品は、資料 05「指定避難所運営マニュアル事前準備編(〇〇小)」のとおりである。避難所の開設・運営に必要と思われる様式や掲示物、文房具などは、ある程度用意されている。

ペット同行避難に際して、実際に検証実験をしたところ、下記の物品は有用であった。避難所の環境により資機材ニーズは変わるため、引き続き様々な避難所での訓練を通じて一般的に必要なもの、環境に応じて必要なものを検討する。

| 検証により有用と思われた物品一覧 |        |           |                                      |
|------------------|--------|-----------|--------------------------------------|
| No.              | 種類     | 仕様        | 必要と思われた理由                            |
| 1                | ブルーシート | 2.7m×3.6m | 屋根や壁の代わりになる、床に敷いて養生するなど、多用途に使用できる。   |
| 2                | ロープ    |           | ブルーシートの係留、立入禁止措置、リードの代用など、多用途に使用できる。 |

なお、不要と思われる物品も確認された。

| 不要と思われた物品一覧 |      |        |                                                      |
|-------------|------|--------|------------------------------------------------------|
| No.         | 種類   | 仕様     | 不要と思われた理由                                            |
| 1           | ウェイト | 金属製の重り | リード係留を想定していたが、重く扱いづらい、どのサイズまでの犬を係留できるかは個体差があり判別できない。 |

#### h 安全対策

##### ○ 逸走防止対策 及び 咬傷事故対策

従前は、渡り廊下をペットの保管場所とし、避難者の避難スペースと場所を分けることにより、逸走防止対策及び咬傷事故対策としていた。

今回、複数のペット避難スペース(候補)を選定する際に、避難者および施設利用者(小学生)の動線を考慮して、ペット避難スペース(候補)を選定し、検証を行った。

実際に検証をしたところ、プールサイドはフェンスに囲まれており、リードによる係留が可能な場所も多いことから、逸走防止対策及び咬傷事故対策としては有効な方法であると考えられた。しかし、プールは断水時に生活用水の水源となり得ることから、飼主以外の避難者も行き来する可能性があり、プールサイドをペット避難スペースとすることは危険、ま

た糞尿による汚染につながるという意見があり、最終的には、プールサイドを避難スペース候補から外すことになった。

これらについては、避難者の避難スペースと場所を分けること、ペットはケージに入れるか遊具のように地面に固定されたものにつなぐことにし、重りではなく、といったルールように改善すると良いと考えられた。

## ○ 臭気・鳴き声・動物アレルギー対策

従前は、渡り廊下をペットの避難スペースとし、避難者の避難スペースと場所を分けることにより臭気・鳴き声・動物アレルギー対策としていた。

今回、複数のペット避難スペース(候補)を選定する際に、避難者および施設利用者(小学生)の動線を考慮して、ペット避難スペース(候補)を選定し、検証を行った。

実際に検証をしたところ、避難者の避難スペースに近い体育館北側については、臭気・鳴き声の問題があり得ると思われたが、訓練参加者からは特段問題視する声は聴かれなかった。今回はペット(生体)の参加は1匹にとどまったが、今後、複数あるいは異なる種類の動物が参加した場合に、改めて検証する必要があると思われる。

複数のペット避難スペース候補を検討しておくことで、避難するペットの数が増えた場合や、異なる種類の動物が避難してきた場合でも対応できると思われた。

## ・展開期(2日目～1週間)

### a ペット管理の方法

現在は、各避難所のルールに従い、周囲に配慮しながら、飼い主が責任をもってペットの世話をすることになっており、また、飼主同士が助け合い、協力してペットの世話をしよう促している。飼育場所などのルールを一律で決めることは、困難かつ避難所が避難者による自主運営を旨とする以上、市がすべてのルールを定めることは望ましくないことであるが、標準的なスターターキットを共有し、訓練を通じて地域住民の話し合いのきっかけとすることは有用であると思われる。

### b 支援ニーズの把握、支援要請

現在はペットに関するニーズ把握は積極的に行う体制になっていないため、避難所運営管理者に飼主個々人からバラバラに要望が寄せられると思われる。

今回、飼主の会を組織するなど、飼主の共助を促す取り組みを行うとともに、飼主の代表が避難所の管理運営会議に参加するなど、会で定期的に要望内容を取りまとめ避難所運営管理者に伝えるようなルールが必要になると思われる。

## ・安定期(1週間目～3週間程度)

### a 避難所運営のための業務の継続(安定期)

生活再建のため飼主のみ避難所から一時的に不在となる場合が想定されるため、展開期と同様に飼主の会で飼主不在時の相互支援をするルールを設けることが望ましい。

### b 避難所集約・統合・閉鎖の準備

避難所の集約・統合・閉鎖に関する計画は存在するが、現在想定する集約先はペット同行避難を想定していないため、避難所閉鎖後のペット同行避難者の支援を検討する必要がある。

また、ペット避難スペースからペットを引き上げる際に飼主が行うべき事項をルールに定めるほか、避難所を閉鎖する際の事項を定める必要がある。

### (3)施設の特徴を考慮して取り組んだ内容及びその評価

本市では指定避難所となっている市立小中学校で原則としてペットを受け入れることとしているため、今回の検証も市立小学校において実施した。検証の結果、小中学校でのペットの受け入れには、特に次の点を考慮に入れてペットの保管場所を検討することが重要であると考えられた。

ただし、すべての項目を満たす場所は限られることから、絶対条件と優先条件といった形で条件に重みづけすることが必要である。

| 考慮すべきことの例                  | 対応策                                                                                                                              |
|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 施設の原状復旧のしやすさ               | ○避難スペースの選定において、以下の事項を考慮する<br>・屋外であること<br>・コンクリートまたはアスファルトが敷かれていること<br>○排水口の位置を考慮する                                               |
| 施設の利用再開に対する影響<br>(学校を例とする) | ○児童の動線(通学・避難・給食)から離すこと<br>※視界にも入らないことが望ましい<br>○教室・給食室付近に設けないこと<br>○災害の状況により、やむを得ず上記の条件を満たさない避難スペースを使う場合は、学校再開前に撤収・移転することをルール上明確化 |

本校の特徴として、敷地の高低差が大きく、体育館と運動場の距離は違いが動線上は離れているといったことが挙げられる。これは、ペットを保管するうえではペットと避難者を分けることができると考えられたため、運動場の遊具やクラブハウスも候補地の1つとした。

## 4 検証の結果、顕在化した問題点とその改善案

ペット避難スペースとしてのプールサイドの評価について、下見時点では逸走対策や大型犬の係留場所の点から評価されていたが、検証訓練後の意見交換において、断水時にプールの水を生活用水することを考慮するとペットの糞尿で汚染される、使用動線と重ならないようにする意見、プールの水を汚染しない様に最終的にはプールサイドをペット避難スペースにしないとの結論になった。

この場合、大型犬の係留場所が必要になるが、対策としては運動場遊具に係留し、風雨対策としてテントを設置する計画とした。実効性については今後の地域の防災訓練で検証を行う予定

である。

## 5 総評

今回の検証により、ペットの受入体制を確立するためには、①ペット同行避難に対する関係者（地域住民と施設管理者）の理解、②飼主の自助共助の意識、③関係者の視点を考慮したペット避難スペースの設定が重要であると思われた。

今回の検証は、前半の講習、後半の訓練を通じて、これらの啓発や検証が進められたと評価できる。しかし、初動期以降の運営から、避難所の集約・統合・閉鎖までを見据えると、まだ検討すべき事項はあると考えられる。

また、今回の検証を通じて、災害時の備えのみならず、啓発や訓練における「スターターキット」の有効性が確認された。当該内容を関係部署にも共有するとともに、他の避難所でのペット受入体制強化の一助になるよう、活用検討を呼びかけていく。

今後は、避難所を利用する地域住民への啓発や情報提供が不可欠である。このため、市として、関係部署やNPO等と連携し、講習や訓練を含む啓発イベントやHPなどを通じて、積極的に発信していくことが必要と考えられる。

# 訓練の様子 ①有識者による講習



講師：NPO法人アナイス代表

平井 潤子先生

- ・災害時のペット同行避難の現状
- ・スターターキットの説明 など

※ 地域住民や学校にも好評だった



## 訓練の様子 ②スターキット配布



避難所運営者からスターキットを渡された想定で訓練開始、住民主体で、キット内の手順書を参考に、受付と避難スペースを設営した。

## 訓練の様子 ③受付設営



ペット用の受付を作り、掲示物を貼り、足りない掲示は新たに作成していた。  
(訓練で必要な掲示が分かれれば、キットに追加して改良できる。)



## 訓練の様子 ④避難スペース設営（体育館北軒下）



避難所となる体育館（2階）からの階段下で、屋根と壁（2面）がある。



## 訓練の様子 ⑤避難スペース設営（プールサイド）



フェンスで囲われており、犬の係留スペースとして使うことを想定。

（プールの水を生活に使う可能性を考えると、望ましくないと意見もあった。）

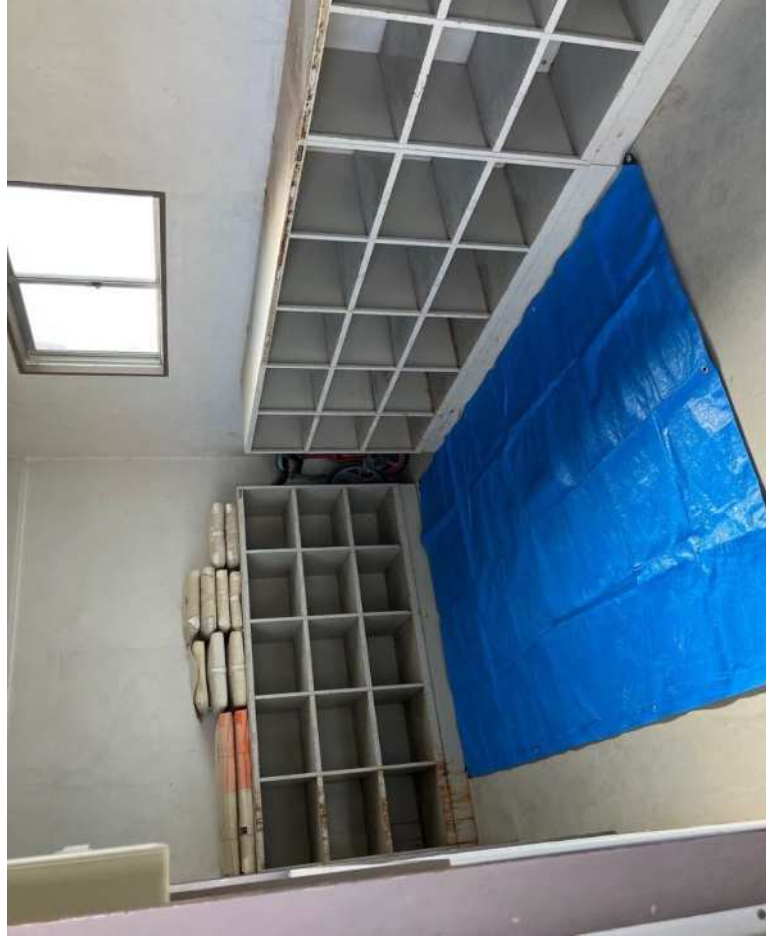


## 訓練の様子 ⑥避難スペース設営（運動場の遊具）



大型犬（ケージの用意が無い犬）は、運動場の遊具に係留する想定。  
（学区や学校のテントを使ったら良い、という意見もあった。）

## 訓練の様子 ⑦避難スペース設営（クラブハウス内）



今回のペット避難スペース候補としては唯一の室内。（ただし、鍵は学校管理）



## 参加者の所感（住民）

- 実際にやってみないと分からないことがたくさんあり、やってよかった。
  - 飼主／非飼主、ペット同行に賛成／反対など、色んな人が参加して意見交換できてよかった。
  - 行政にお願いするのは何か違う、自分達のは自分達ですべきと思った。
  - 人の防災・避難にも応用できる気づきが色々あった。
  - ペット防災という新しいテーマで、普段の防災訓練に参加しない方も参加していた。
- この学区では、毎年の防災訓練でペット防災班（飼主・非飼主で編成）を作り、引き続き訓練と課題検証を行う方針となった。



## 参加者の所感（役所）

- 講習を聞いてから訓練することで、住民の理解も深まり、色々な意見が聞けたと思う。
- 行政と地域のみで有識者がいない状況では、ハードルが高いように感じた。今後も開催するなら、コンサル等第三者として意見する人がいた方がよい。
- 様々な意見を持った関係者が、話し合いを通じて、お互いのペット避難についての考えや、みなが満足できるペット避難スペースの実現が難しいことを共有できたのは良かった。



令和6年11月12日（火）

## ペット同行避難訓練 事前会議

### 参加者

|               |              |             |
|---------------|--------------|-------------|
| 有識者           | NPO法人アナイス理事長 | 平井          |
| 愛知県           | 防災安全局災害対策課   | 齋藤          |
|               | 保健医療局生活衛生課   | 大平          |
| 名古屋市          | 防災危機管理局地域防災課 | 磯貝・山本・市川    |
|               | 健康福祉局食品衛生課   | 久保田         |
| 区役所           | 総務課          | 西窪・伊藤・横井    |
|               | 保健福祉センター     | 石川          |
| 〇〇小学校         |              | 〇〇・〇〇       |
| 〇〇学区（〇〇〇〇防災会） |              | 〇〇・〇〇・〇〇・〇〇 |

### 次第

1. あいさつ
2. 出席者自己紹介
3. 現在の避難所のスペース配置を説明（区より）
4. ペット同行避難場所の候補（現計画地、ほか候補地）を説明（区より）
5. 避難所・ペット避難場所の現地確認
6. 訓練計画を説明・訓練場所の検討（区より）
7. 有識者から助言
8. その他質疑応答、意見交換

## ペット同行避難訓練（案）

日時 令和7年1月19日（日）午前10～12時

会場 ○○小学校（ペット避難スペース周辺・体育館・特活室）

※体育館・特活室は必須ではないが、ペット避難スペースと、  
一般避難スペース・地区本部との関係を見るうえで、使えると良い

参加者 行政・有識者13（県2・市4・区6・有識者1）

学校2（校長・教頭）

地域 避難所管理運営者側\_\_名 ペット同行避難者役\_\_名 犬○匹、猫○匹

目的 避難所の立ち上げ・管理運営を円滑に行えるようにすること

飼主とペットが、最低限避難できる場所を地域で確保すること

飼主にペットの対策を啓発すること

目標 ・ペットを受け入れのルール（場所・受入条件・運営方法）を定める  
（素案の作成が必要）

・飼主でペット避難スペースの設営・運営・撤収を行う

（ペット同行避難スターターキット・手順書の実証）



# タイムスケジュール

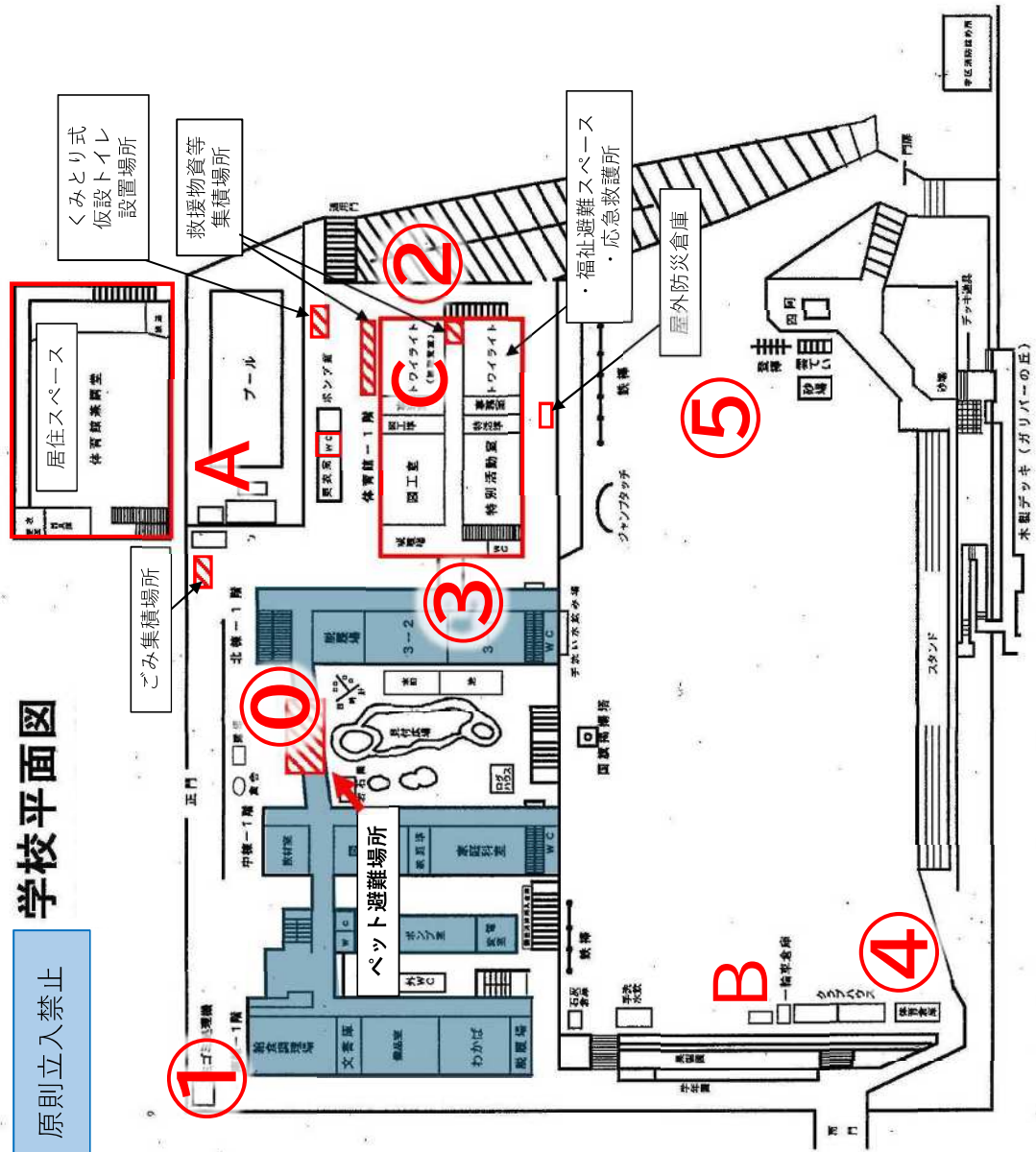
|       |     |                                                                                       |
|-------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 9：30  | 関係者 | 体育館前に集合・倉庫の開錠・避難所受付設置                                                                 |
| 10：00 | 避難者 | ペット同行避難者用の門（要設定）に集合                                                                   |
| 10：00 | 区   | 避難者へのオリエンテーション（10分）<br>・訓練の目的と流れ、注意事項の説明                                              |
| 10：10 | 避難者 | 避難所到着・受付・設営・運営訓練（60分）<br>・ペット受付の設置<br>・ペット避難スペースの設営<br>・各種掲示物の貼り出し<br>・避難所管理運営者との連絡調整 |
| 11：10 | 避難者 | 片付け・清掃・原状復旧（20分）                                                                      |
| 11：30 | 全員  | 質疑応答・振り返り（30分）<br>・訓練の振り返り<br>・要検討点・改善点の共有<br>・有識者から講評<br>・参加者からの質問に回答（区・市・県・有識者）     |
| 12：00 |     | 終了・解散                                                                                 |

※雨天時の対応を要検討

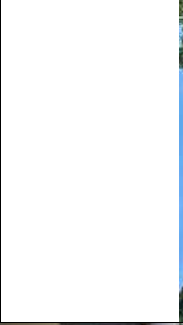
ペット避難場所の検討の観点（現資料の ○～△ の考え方）

| 項目               | 説明                                                                                                                                                                |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 屋根の有無            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋根がなければ△</li> <li>・ ブルーシート等によるＤＩＹでの対処可能性は考慮外</li> </ul>                                                                  |
| 壁の有無             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 壁がなければ△</li> <li>・ 壁の高さ（天井までか、腰高か、など）は考慮外</li> <li>・ ブルーシート等によるＤＩＹでの対処可能性は考慮外</li> </ul>                                 |
| 居住スペースとの距離       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難者の居住スペースの窓のすぐ外は×</li> <li>・ 窓から距離があるか、廊下を挟んでいる場合は△</li> </ul>                                                          |
| 一般教室との距離         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般教室の窓のすぐ外は×</li> <li>・ 窓から距離があるか、廊下を挟んでいる場合は△</li> </ul>                                                                |
| 避難者動線との重なり       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難経路に重なる場合は×</li> <li>・ 避難所の生活動線に重なる場合は×</li> <li>・ 管理運営者が防災倉庫に行く動線に重なる場合は△～×</li> </ul>                                 |
| 児童動線との重なり        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難経路に重なる場合は×</li> <li>・ 通学動線に重なる場合は× 隣接なら△</li> <li>・ 給食を運ぶ動線・バリアフリー動線に重なる場合は△～×</li> <li>→給食再開まで見据えて場所を決めるか？</li> </ul> |
| 現状復旧の<br>大変さ（室内） | <p>ブルーシート等による養生はするものとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水で洗い流せる場所か</li> </ul>                                                                       |
| その他              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スペースの広さ・拡張の余裕</li> <li>・ 夏の雑草繁茂の可能性</li> <li>・ リードを結ぶ場所があるか</li> </ul>                                                   |

原則立入禁止



ペット避難スペース（屋外）

| NO. | 場所                        | 屋根の有無  | 壁の有無                       | 居住スペースとの距離 | 一般教室との距離 | 避難者動線との重なり              | 児童動線との重なり<br>(通学・給食・避難) | その他                                                              | 写真①                                                                                 | 写真②                                                                                 |
|-----|---------------------------|--------|----------------------------|------------|----------|-------------------------|-------------------------|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 0   | 北棟と中棟校舎の<br>渡り廊下<br>【現計画】 | ○<br>有 | ○<br>有<br>(3面、うち<br>2面は腰高) | ○<br>遠い    | △<br>近い  | ○<br>重ならない              | △<br>重なる<br>(右記)        | △通学動線に接する<br>×給食動線と重なる<br>? 避難動線に重なる?<br>給食再開まで考えたと×<br>○スペースは広い |    |    |
| 1   | 駐輪場                       | ○<br>有 | △<br>無<br>(フェンス有)          | ○<br>遠い    | ○<br>遠い  | ○<br>重ならない              | ○<br>重ならない              | △スペースが狭い<br>△給食調理場が近い                                            |    |    |
| 2   | 体育館1階北側                   | ○<br>有 | ○<br>有<br>(2面)             | △<br>近い    | ○<br>遠い  | ○<br>重ならない              | ○<br>重ならない              | △通路・スペースが狭い<br>△夏は草木が茂るかも?                                       |    |    |
| 3   | 北棟と体育館の1階渡り廊下             | ○<br>有 | ○<br>有<br>(1面)             | △<br>近い    | △<br>近い  | △<br>重なる<br>(屋外防災倉庫利用時) | ○<br>重ならない              | △スペースが狭い                                                         |   |   |
| 4   | クラブハウス周辺                  | △<br>無 | ○<br>有<br>(1～2面)           | ○<br>遠い    | ○<br>遠い  | ○<br>重ならない              | ○<br>重ならない              | ○広い(拡張性あり)<br>△ブルーシートなどで<br>設置する前提<br>(人手がかかる)                   |  |  |
| 5   | 校庭の遊具(ジャンプタッチ鉄棒・雲梯など)     | △<br>無 | △<br>無                     | ○<br>遠い    | ○<br>遠い  | ○<br>重ならない              | ○<br>重ならない              | ○広い(拡張性あり)<br>△ブルーシートなどで<br>設置する前提<br>(人手がかかる)                   |  |  |

プール、木製デッキ(ガリバーの丘)、あずまや(校庭の北側)については、1年のうちに工事が見込まれるため、今回のペット避難場所案には挙げない。



【参考】 ペット避難スペース 屋内の検討 ※いづれも発災後すぐ使えるものではないが、今後の検討の参考として作成

| NO. | 場所        | 居住スペース<br>との距離 | 一般教室<br>との距離 | 避難者動線<br>との重なり | 児童動線<br>との重なり<br>(通学・給食・避難) | 現状復旧の<br>大変さ | その他                                                                                                               |
|-----|-----------|----------------|--------------|----------------|-----------------------------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A   | プール更衣室    | ○<br>離れている     | ○<br>離れている   | ○<br>重ならない     | ○<br>重ならない                  | ○<br>水洗い可    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度工事予定</li> <li>・シーズン外は物置になっている？</li> </ul>                              |
| B   | 一輪車倉庫     | ○<br>離れている     | ○<br>離れている   | ○<br>重ならない     | ○<br>重ならない                  | ○<br>水洗い可    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一輪車を体育倉庫等に移して使う</li> <li>・スペースは限定的</li> </ul>                             |
| C   | トワイライトルーム | △<br>近い        | ○<br>離れている   | △<br>近接する      | ○<br>重ならない                  | △<br>難しい     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難スペースである</li> <li>・ブルーシート等で養生が必要</li> <li>・学校のほかトワイ管理者との調整が必要</li> </ul> |



## 20250128 ○○小（校長・教頭）

### 内容

- ・ペット避難スペースについて（クラブハウスの鍵の扱いなど）
- ・災害時の建物使用範囲について

### 結果

- ・クラブハウスをペットの避難スペースとして構わない。ただし、**鍵は、学校が管理する。**

## 20250128 ○○防災会（地域住民 15 名）

### 内容

- ・ペット避難場所の整理や受入ルールについて議論

### 話題 ※区の発言は「区）」と記載

#### ・ペット避難スペースについて

- ・クラブハウス
  - ・ここも立派な人間用の避難スペースになる。
  - ・室内は、避難者を優先した方がいい。
  - 当初のペット避難スペース候補から外す**、という結論になった。
- ・プール
  - ・プールの水は、生活用水や、ポリ袋クッキングの湯沸かしに使う可能性がある。
  - ・プールサイドの奥の方なら、大型犬をつなぐスペースにしてもいいのでは。
  - ・プールの水が、ペットの糞尿で汚染される事態は避けたい。
  - ・水は貴重な資源なので、誰でもプールサイドに入れる状況は避けたい。
  - プールサイドはペット避難スペース候補から外す**、という結論になった。
- ・体育館北側
  - ・スペースが限られていることを除けば、特段悪い点はなかった。
  - ・防犯面からは、体育館周りの暗がりを潰せるので、ここに動物が居るのは良いのでは。
  - ・ケージなら2段3段に積みめば、10匹や20匹は入るだろう。
  - ・予め棚を作っておけると良い。テーブルで代用できる。などの意見あり。

→**結論：体育館北側を、ケージに入れたペットの避難スペースとする。**

#### ・大型犬をどうするか

- 運動場の遊具＋テント（運動会等で使う組み立て式のもの）が良い**、という結論になった。
- ・どの遊具が良いか、という点は、今後の学区防災訓練（避難所開設）において、検証する。
- ・大型犬が何頭受け入れられるか、という点については、現時点では「受け入れ余地あり」でよい。今後の訓練で検証し、何頭まではいけそう、という数字を考える。

- ・ ペット受付について

- ・ 受付が段差の上で高すぎ。避難者受付との兼ね合いをどうする。など意見あり。

→今後の訓練で、避難者受付と並べて検証する。

- ・ 今後の訓練について

- ・ 今後の、年1回の学区防災訓練において、避難所開設の訓練を行い、その中で、飼主用に別メニュー（ペット避難スペース立ち上げ）を組み込み、そこで検証していきたい。
- ・ ペット避難スペース立ち上げ班は飼主をメインに、非飼主（防災会メンバー）も混ぜ、両者の観点で検証を行う。

- ・ 掲示物について

- ・ 文字が多いものは、なるべく迷わない様に、簡素にしてほしい。
- ・ 標準的なものは行政で作ってほしい。学校や避難所に合わせた改良や追加は学区で行う。

- ・ その他の話題

運動場への車の乗り入れについて

- ・ 運動場への車の受け入れはどうか？現在は原則禁止している。
- ・ ペット同行者が車中泊を希望するかもしれない。
- ・ ルールを決めないと、必要な車が入れなくなる恐れがある。（結論は出ず）



名古屋市における  
備蓄物資及び指定避難所資機材  
ガイドブック



— はじめに —

「避難所には何があるんだろう？」

「避難所にある資機材を  
発災時に使いこなせるか不安だな・・・。」

このガイドブックは、そんな疑問・不安を  
解消するために作成しました。

避難所生活で困らないよう  
事前に避難所の備蓄状況や使用方法などを  
確認するとともに、  
不足と感じたものは個人もしくは地域で  
あらかじめ備えておきましょう。

## — 目 次 —

|   |                                |      |
|---|--------------------------------|------|
| 1 | 避難所にある備蓄物資及び資機材一覧 ……           | 1    |
| 2 | 避難所以外に備蓄されている<br>備蓄物資・資機材一覧 …… | 2    |
| 3 | 災害発生時における物資の確保 ……              | 3, 4 |
| 4 | 資機材の使い方 ……                     | 5～   |
|   | ・デジタル移動無線 ……                   | 6    |
|   | ・テレビ ……                        | 10   |
|   | ・避難所開設キット ……                   | 12   |
|   | ・間仕切り ……                       | 14   |
|   | ・簡易式スロープ ……                    | 16   |
|   | ・特設公衆電話 ……                     | 18   |
|   | ・下水道直結式トイレ ……                  | 20   |
|   | ・くみ取り式トイレ ……                   | 24   |
|   | ・簡易パック式トイレ ……                  | 28   |
|   | ・簡易洋式便座 ……                     | 30   |
|   | ・地下式給水栓資器材 ……                  | 32   |
|   | ・発電機 ……                        | 34   |
|   | ・投光器 ……                        | 36   |
|   | ・衛生用品 ……                       | 38   |
|   | ・災害用公衆無線LANアクセスポイント等資材…        | 44   |

訓練などで実物と使い方を  
確認しよう！



※この冊子で「避難所」とあるのは、「指定避難所」のことを指します

# 1 避難所にある備蓄物資及び資機材一覧

## 市立小・中学校（旧小学校を含む）

### ○食糧、毛布等

- ・アルファ化米  
（梅がゆ、わかめ、きのこまたは五目）
- ・ビスケット
- ・飲料水
- ・毛布
- ・タオル

### ○トイレ関係

- ・下水道直結式トイレ
- ・くみ取り式トイレ
- ・簡易パック式トイレ
- ・簡易洋式便座

### ○資機材等

- ・デジタル移動無線
- ・テレビ
- ・避難所開設キット
- ・間仕切り
- ・簡易式スロープ（バリアフリー化されていない市立小・中学校のみ）
- ・地下式給水栓資器材
- ・発電機
- ・投光器
- ・衛生用品（キット、簡易ベッド、パーティション）
- ・特設公衆電話
- ・災害用公衆無線LAN  
アクセスポイント等資材  
（旧小学校は含まない）



## その他の避難所（コミュニティセンター、民間施設など）

### ○食糧、毛布

- ・アルファ化米  
（梅がゆ、わかめ、きのこまたは五目）
- ・ビスケット
- ・飲料水
- ・毛布

### ○トイレ関係

- ・下水道直結式トイレ
- ・くみ取り式トイレ
- ・簡易パック式トイレ

### ○資機材等

- ・避難所開設キット
- ・間仕切り  
（収容人数200人以上の指定避難所のみ）
- ・衛生用品キット



## ビスケットとアルファ化米について

| 品 目                               | 特 徴                      | アレルギー                           | 対 象                      |
|-----------------------------------|--------------------------|---------------------------------|--------------------------|
| ビスケット                             | ・そのまま食べられる               | アレルギー物質<br>（大豆、小麦、乳等）使用         | アレルギー疾患のない方              |
| アルファ化米<br>（梅がゆ）                   | ・水かお湯が必要<br>・歯の弱い方も食べやすい | アレルギー表示対象<br>品目（28品目）を<br>すべて除去 | 高齢者など                    |
| アルファ化米<br>（わかめごはん・きのこごはんまたは五目ごはん） | ・水かお湯が必要                 |                                 | アレルギー疾患のある方を始め、だれでも食べられる |

## 2 避難所以外に備蓄されている備蓄物資・資機材一覧

### 区役所・支所

#### ○食糧、毛布等

- ・アルファ化米  
（梅がゆ、わかめ、きのこまたは五目）
- ・アルファ化米  
（腎臓病対応低たんぱく米）
- ・ビスケット
- ・飲料水

#### ○資機材等

- ・間仕切り
- ・段ボールベッド、パーティション

- ・粉ミルク（一部アレルギー対応）
- ・毛布
- ・タオル
- ・紙おむつ（子供用、大人用）
- ・生理用品
- ・哺乳瓶
- ・使い捨て哺乳瓶



### 市が借り上げている備蓄倉庫

#### ○食糧、毛布等

- ・アルファ化米  
（梅がゆ、わかめ、きのこまたは五目）
- ・ビスケット
- ・飲料水
- ・毛布
- ・不織布毛布
- ・タオル
- ・紙おむつ（子供用、大人用）
- ・生理用品
- ・哺乳瓶
- ・使い捨て哺乳瓶
- ・粉ミルク（一部アレルギー対応）

#### ○トイレ関係

- ・下水道直結式トイレ
- ・くみ取り式トイレ
- ・簡易パック式トイレ

#### ○資機材等

- ・間仕切り
- ・段ボールベッド、簡易ベッド、パーティション

在宅避難など避難所に避難していなくても、避難所で避難者登録をすることで食糧などの支給が受けられます。



### 食糧、毛布について

○本市では、避難所の避難者等に対する発災後3日分の食糧及び毛布を備蓄しており、避難所や区役所、本市が借り上げている備蓄倉庫などに分散して保管しています。

○避難所の備蓄量については、避難所の収容人数や浸水想定などを勘案し配備しています。

#### POINT !

災害時は、自分で自分や自分の家族を守るという「自助」が大切です。日頃からの備蓄として食糧や飲料水などをおおむね7日分程度、そのうち非常持ち出し品として3日分の備蓄を行うようにしましょう。

名古屋市 地区防災カルテ 検索  
本市公式ウェブサイトにて公開中！

各避難所に備蓄している物資の数量は、  
該当学区の地区防災カルテを参照

### 3 災害発生時における物資の確保

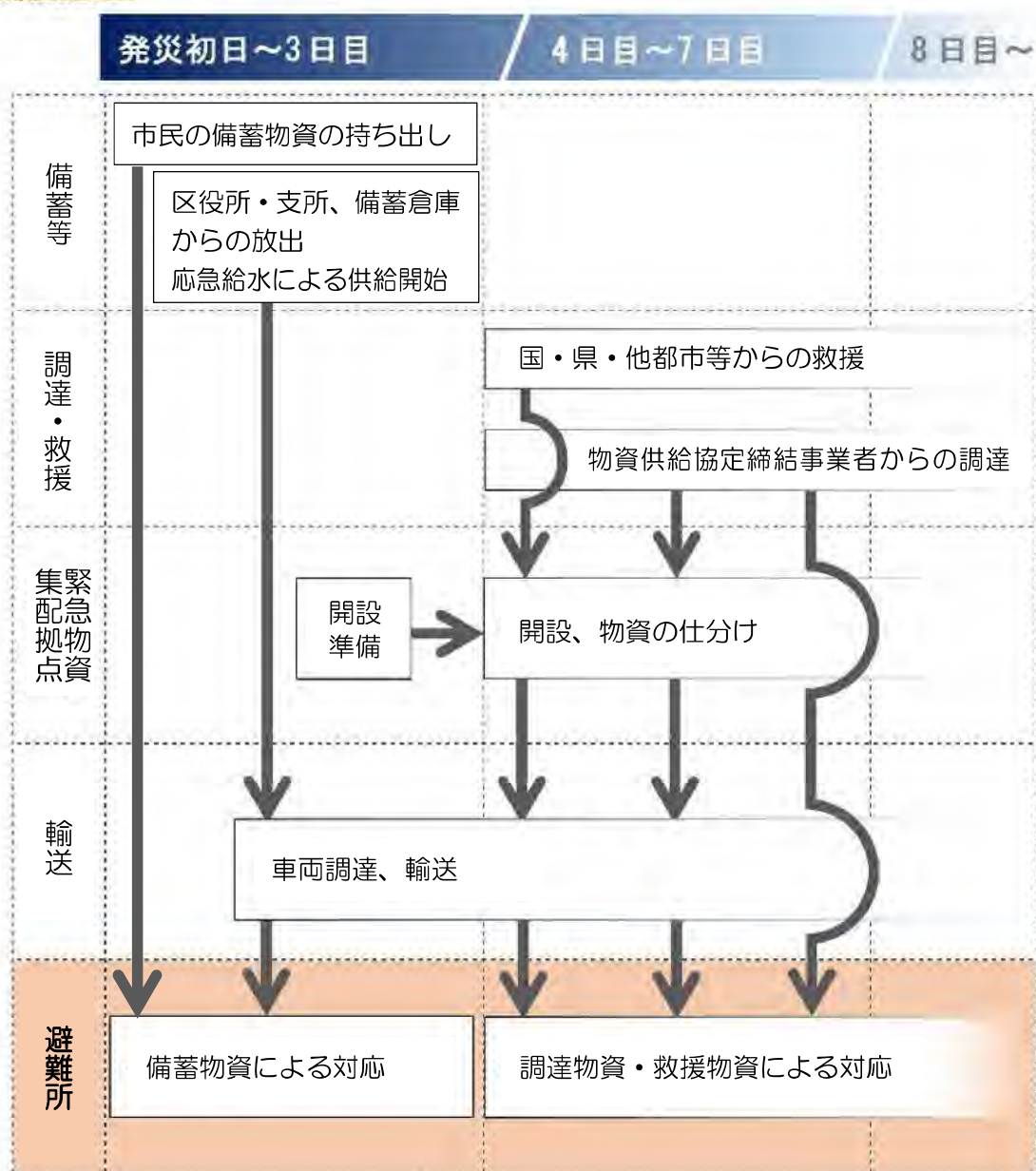
発災後3日間は、市民自ら備蓄している物資を持ち出してもらうことと、避難所や区役所・支所、備蓄倉庫にある備蓄物資の払い出しや応急給水によって対応します。

発災後4日目以降は、国・県・他都市等からの救援物資や物資供給協定締結事業者からの物資が調達され次第、緊急物資集配拠点※を経由して避難所へ輸送されます。（ただし、ここでの物資確保の時間はあくまでも目安であり、災害の状況によりその時間が大きく左右されることがあります。）



※物資供給協定締結事業者等からの調達物資や、国・県・他都市等からの救援物資が大量に届く場合などに、物資を仕分けし、避難所まで輸送するための拠点です。

#### 《概念図》

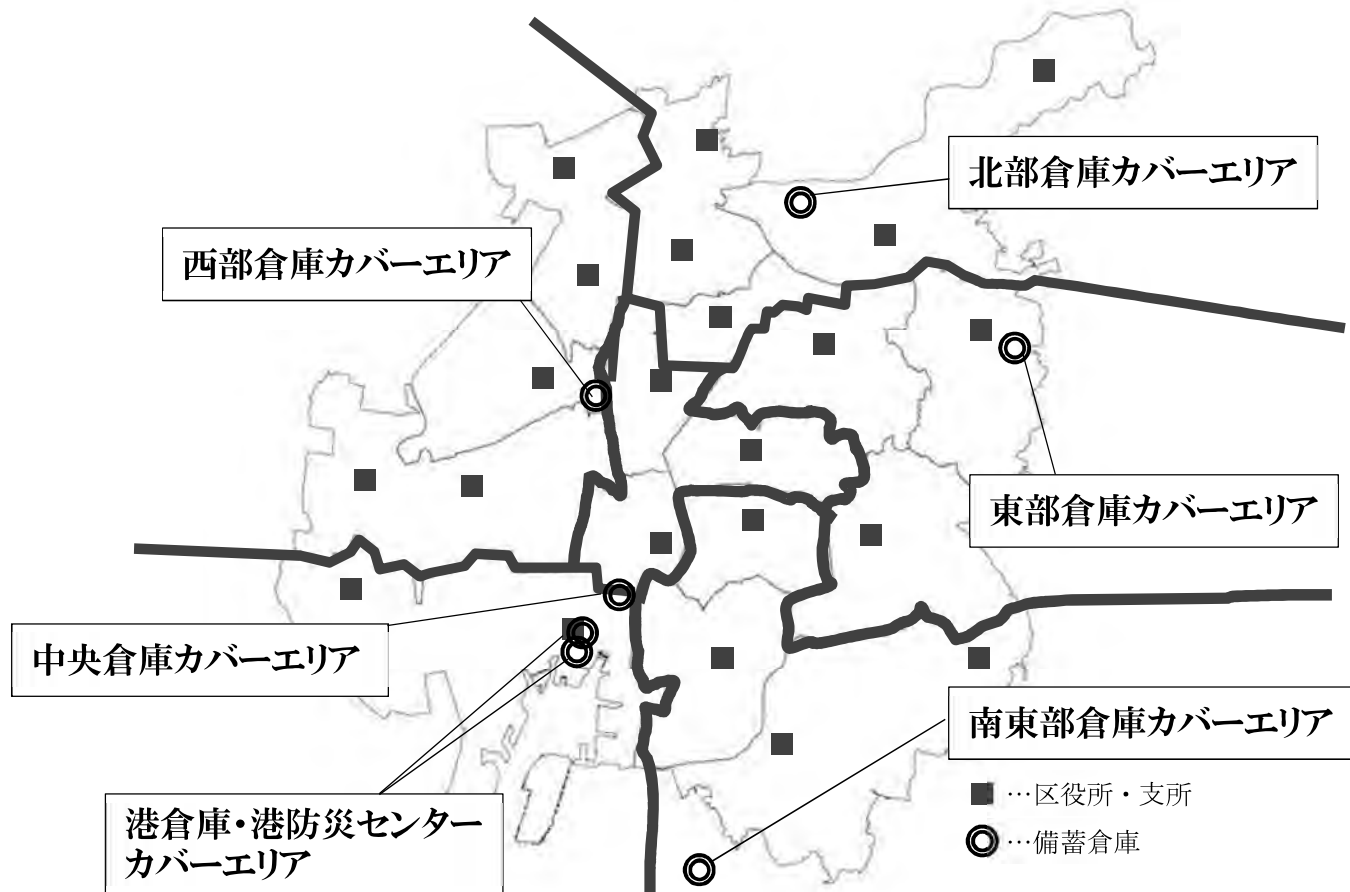


※物資や資機材が不足する場合は物資供給協定締結事業者から調達を行います。必要に応じて、災害救助地区本部を通じ区本部へ要請してください。

現在、本市では、避難所等における物資不足に対応できるよう、7つの備蓄倉庫を市内各方面に配置しています。

| 倉 庫 名         | 所 在   |
|---------------|-------|
| 東 部 倉 庫       | 名 東 区 |
| 北 部 倉 庫       | 守 山 区 |
| 西 部 倉 庫       | 中 村 区 |
| 中 央 倉 庫       | 港 区   |
| 南 東 部 倉 庫     | 東 海 市 |
| 港 倉 庫         | 港 区   |
| 港 防 災 セ ン タ ー | 港 区   |

《現状のカバーエリアイメージ》







## 4 資機材の使い方

- ここに記載のある資機材は、避難所管理組織を中心に、避難者全員で協力しながら設置をしてください
- 避難所管理組織の詳しい活動内容は、「指定避難所運営マニュアル」をご覧ください

## デジタル移動無線

### ○ 導入の趣旨

大規模災害発生時において、防災活動の中心となる区本部と災害救助地区本部となる小学校、医療救護所となる中学校等との情報伝達を行うために設置しています。

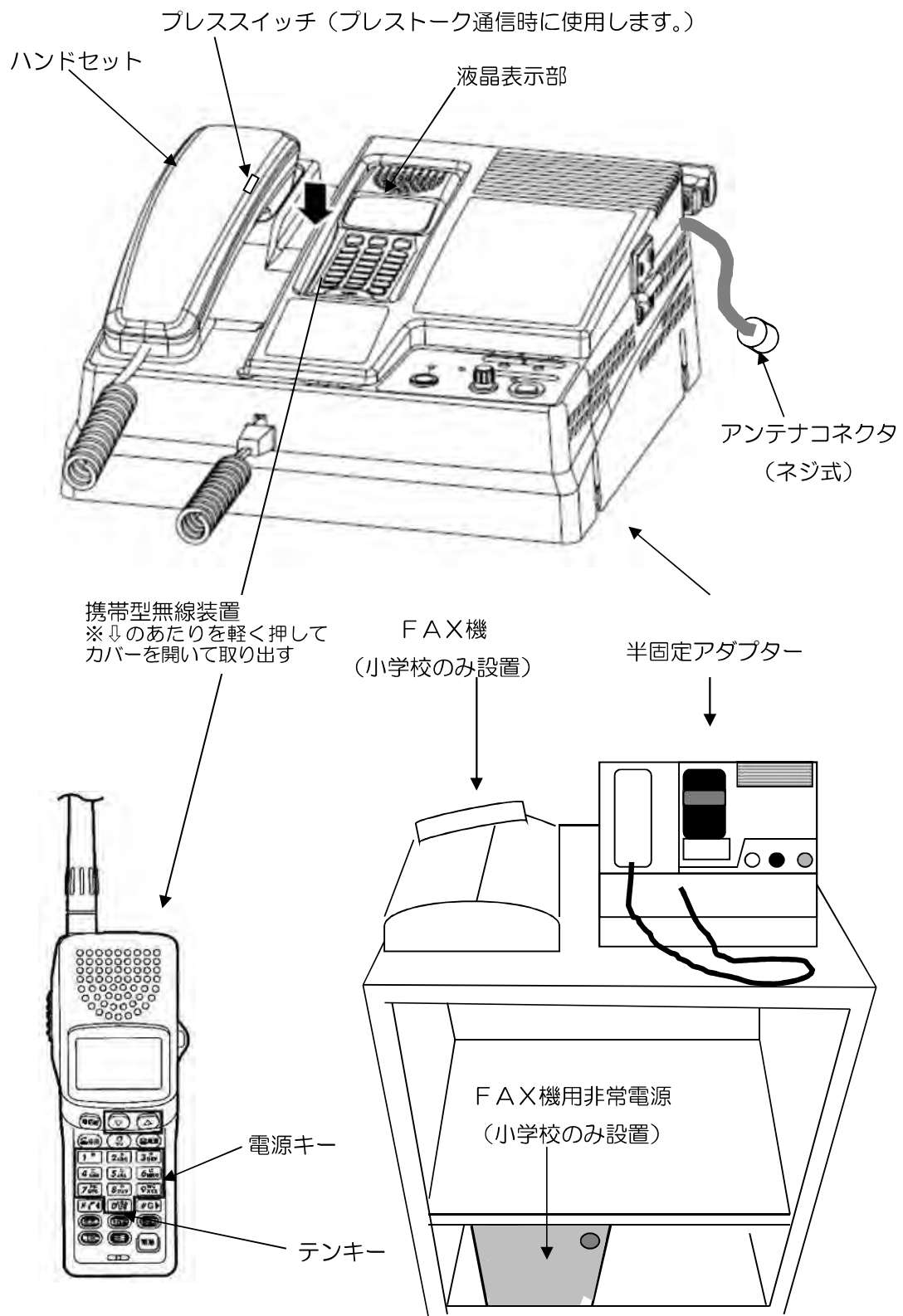
### ○ 使用想定

- 各地区本部長が設置場所の鍵を所有しており、地区本部や医療救護所が立ち上がった際に、必要に応じて使用します。
- 電波を受信しづらい場合は、端末内部にセットされている携帯機を取り出し、電波を受信できる場所に移動して使用します。
- 救助地区本部となる小学校のデジタル移動無線にはFAXが併設されており、無線回線を利用して区本部等とFAX通信ができます。

### ○ 配備物品一覧



## ○ 使用の手順・注意点



## ○ 使用の手順・注意点

### ●個別呼出をする場合

- ①半固定アダプターのハンドセットを持ち上げる。
- ②無線機はなごや0となごや1の2つのグループがあり、同一グループ間の通話の場合、呼出番号3桁（呼出番号表を参照。）を押す。異なるグループ間での通話の場合、下記のとおりグループ番号5桁+呼出番号3桁を押す。

| なごや0                                        | なごや1                                        |
|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 23100+3桁                                    | 23101+3桁                                    |
| 千種区・東区・北区・西区・<br>中村区・昭和区・瑞穂区<br>に配置されている無線機 | 熱田区・中川区・港区・南区<br>・守山区・緑区・天白区<br>に配置されている無線機 |

- ③「採用」を押して呼び出す。
- ④通話（3分以内で通話を行う。）
- ⑤終話（ハンドセットをもとの位置に戻す。）  
（※FAX機を受話器を持ち上げても通話はできません。）

### ●FAX機を使用する場合（例：区役所に原稿を送信する。）

- ①原稿をセット（表向き）する。
- ②FAX機本体の「ワンタッチダイヤル1」（区役所1）または「ワンタッチダイヤル2」（区役所2）を押す。
- ③自動的に終了  
（※無線通信を使ったFAXの特性上、多少時間を要します。）

### ●音声呼出を受けた場合

- ①ハンドセットを本体より持ち上げる
- ②通話（3分以内）
- ③終話（ハンドセットを元の位置に戻す）  
（※FAX機を受話器を持ち上げても通話はできません。）

### ●グループ呼出（プレストーク）を受けた場合

- ①相手からの呼出  
（液晶表示部には「プレストーク通信」と表示される。）
- ②ハンドセットを本体より持ち上げる。
- ③通話  
（話す時のみ、ハンドセットのプレススイッチを押す。相手の声を聞く時は押さない。）
- ④終話（半固定アダプターのハンドセットをもとの位置に戻す）  
（※プレススイッチを押していると、グループ内の他の方が話すことができません。話す時以外は絶対に押さないようにして下さい。）  
（※FAX機を受話器を上げて通話もできません。）



## テレビ

### ○ 導入の趣旨

災害発生からの時間経過に伴い、刻々と変化する気象情報や被災状況など、最新の災害情報等を入手できるよう主要な避難所となる市立小中学校等に配備しています。

### ○ 使用想定

- ・ 指定緊急避難場所開設の段階で設置し、情報収集を行います。
- ・ 停電していない場合はコンセントを、停電時は非常用電池を使用して、電源を確保します。

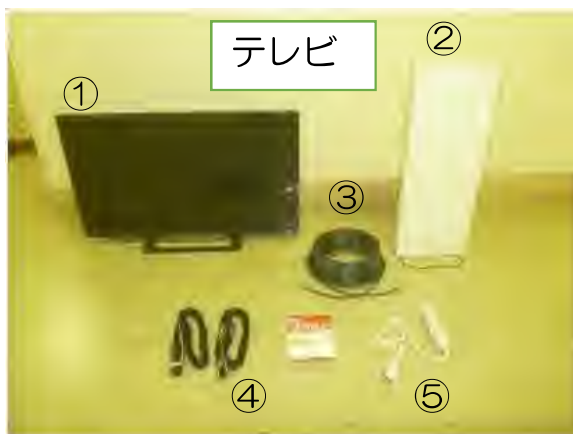
### ○ 配備物品一覧

#### 【外観】



- サイズ  
約 100×50×38cm  
(横×奥行×高さ)
- 重さ  
約 20kg

#### 【中身】



- ① 液晶テレビ (32 型) 1 台
- ② テレビアンテナ1 台
- ③ 同軸ケーブル (30m) 1 本  
(テレビとアンテナをつなぐケーブル)
- ④ 耐震固定用器具  
(簡易結束ベルト2本、耐震マット1袋)  
(テレビやアンテナの固定用)
- ⑤ テーブルタップ (6個口) 1 個



- ⑥ 非常用電池本体2 個  
(24 時間 (1 日 8 時間想定×3日)  
テレビを使用できる容量)
- ⑦ 付属インバータ1 台



## ○ 使用の手順・注意点

### ○ テレビの使用手法

- 1 テレビに同軸ケーブルを取りつけ、アンテナと繋がります。
- 2 アンテナを、東（瀬戸デジタルタワーの方向）へ向け、電波を受信できるように設置します。  
（アンテナは防水仕様。屋外でも使用可）

コンセント（停電時には非常用電池）に接続



### ○ 非常用電池の使用手法

#### 【注意点】

- ・災害時に実際に使用する場合以外は電池の保存袋を開封しないでください。  
（開封した瞬間から発電が始まります。）
- ・開封後は、使用時以外は電池を保存袋に入れてください。（ある程度発電を抑えることができます。）



（保存袋から電池が出された状態）



（インバータ）

- 1 接続ケーブルの端子とインバータの端子をつなぎます。

（マイナス端子（黒）をインバータの電源入力端子（黒）に接続し、**プラス端子（赤）**を機器の電源入力端子（赤）に接続）



- 2 接続ケーブルのコネクタを電池側のコネクタジャックに差し込みます。

- 3 電源スイッチを 'ON' にし、テレビの AC プラグをコンセントに差し込みます。



## 避難所開設キット

### ○ 導入の趣旨

発災初動時において、すみやかに避難所を開設するため、避難所を開設するにあたって、最低限必要となる物品をひとまとめにした避難所開設キットを配備しています。（令和２年度末までに配備予定）

### ○ 使用想定

- ・避難所を開設する際やその後の運営において使用します。

### ○ 配備物品一覧

#### 【 外観 】



#### 【 中身 】



## ○ 使用の手順・注意点

### 【主な使用用途】

| 品 目          | 数 量   | 主 な 使 用 用 途            |
|--------------|-------|------------------------|
| マニュアル関係      | 一式    | 避難所開設・運営時にやるべきことを確認します |
| 案内標識         | 一式    | 危険箇所を明示したり、受付の際に使用します  |
| ビブス（班名入り）    | 11 枚  | 避難所運営者が着用し、役割を明らかにします  |
| スケッチブック（A3）  | 1 冊   | 手書きの掲示板に使用します          |
| 用紙（A4）       | 500 枚 | 集計用やメモ用として使用します        |
| 鉛筆（消しゴム付）    | 12 本  | 受付や避難所運営者による巡回で使用します   |
| 鉛筆削り         | 1 個   |                        |
| 定規（30cm）     | 1 本   |                        |
| クリップボード（A4）  | 2 枚   |                        |
| ダブルクリップ（中）   | 10 個  |                        |
| 油性黒マーカー      | 6 本   | 段ボールへの記入や掲示板の作成に使用します  |
| 油性赤マーカー      | 2 本   |                        |
| 軍手（すべり止め付）   | 12 双  | 作業時の怪我防止に使用します         |
| はさみ          | 1 本   | 書類やひもの切断に使用します         |
| カッター         | 1 本   | 段ボール箱の開封に使用します         |
| 養生テープ        | 3 巻   | 掲示板の貼り出しやスペースの明示に使用します |
| 荷造ひも         | 1 巻   | 段ボールの梱包や危険箇所の明示に使用します  |
| ポリ袋（45ℓ）     | 30 枚  | ゴミ袋として使用します            |
| 懐中電灯（ランタン兼用） | 2 個   | 夜間の巡回で使用します            |
| アルカリ単三乾電池    | 12 本  |                        |

避難所開設キットには、避難所開設に最低限必要な物品が入っていますが、地域での話し合いや訓練等を通して、地域の状況に応じ、さらに必要なものを検討していきましょう。

## 間仕切り

### ○ 導入の趣旨

避難所における授乳室や更衣室（特に女性）を他に確保できない場合にプライバシーを確保できるよう、市立小中学校等など受入可能人員の多い避難所に2セットずつ配備しています。

### ○ 使用想定

- ・更衣室、授乳室など、利用方法に合わせて適切な場所に設定してください。
- ・避難所の開設時に協力して設置してください。

### ○ 配備物品一覧

#### 【外観】



- ・間仕切りテント
- ・FRP ロッド  
（黒色のロッド：タテ方向補強材）  
（灰色のロッド：ヨコ方向補強材）
- ・表示札
- ・設営説明書

※【表示札】



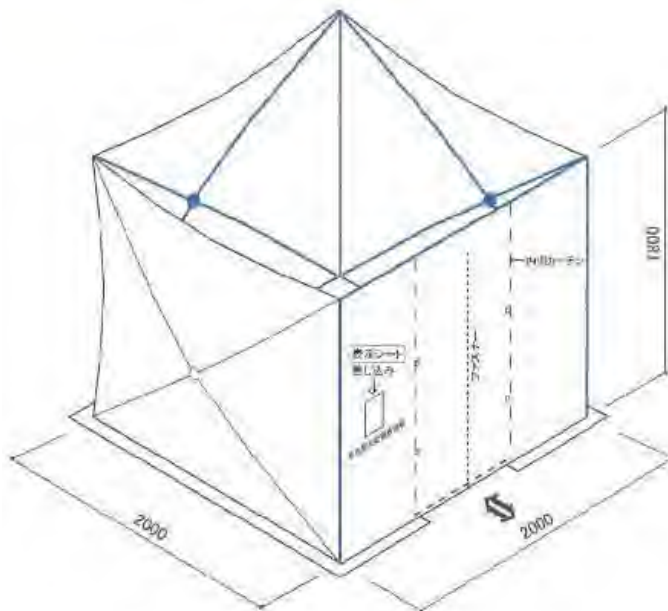
#### 【設置した状態】



○サイズ  
約 150×20×20cm  
（横×奥行×高さ）  
○重さ  
約 3kg

## ○ 使用の手順・注意点

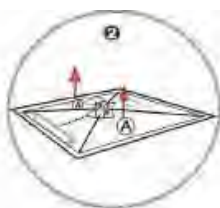
- 設営は二人以上で行ってください。
- 間仕切りを設置できるスペースを確保してください。



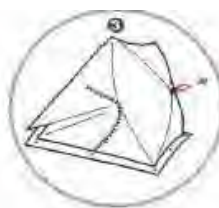
- 設営方法（同じものが間仕切り収納袋に縫い付けてあります）



①円形の台座を下にして立てる。



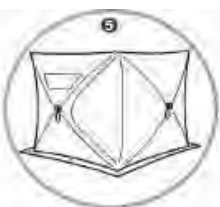
②シルバーの面が上になっている状態で A をめくると赤いハンドルがでる。



③赤いハンドルを矢印の方向へ、骨組みが外側へ張り出すまで強く引く。



④同時に反対側の面の赤いハンドルも、骨組みが外側へ張り出すまで強く引く。



⑤次に、後方の黒いハンドルも同じように引く。



⑥黒色のロッドを正面内側左右の上下にあるポケットに差し込み固定する。



⑦灰色のロッドを正面上部内側左右にあるポケットに差し込み固定する。



## 簡易式スロープ

### ○ 導入の趣旨

主要な避難所である市立小中学校のうち、福祉環境整備が行われておらず、必要な昇降スロープも配備されていない学校について、福祉避難スペースまでの段差解消のために必要な昇降スロープを配備しています。

### ○ 使用想定

- ・車いすの使用者が、施設の入口から福祉避難スペースまで移動できるように、障害となる段差を解消するために、段差にスロープを設置します。
- ・避難所の開設時に協力して設置してください。

### ○ 配備物品一覧

#### 【 外観 】



※この状態で保管されています。



各施設の段差の状況に応じて、65～200cmのスロープが配備されています。

施設によっては投票所用の簡易式スロープでご対応いただきます。





## ○ 使用の手順・注意点

### ○ 使用する角度の目安



### ○ 設置方法

- ① スロープを設置場所においてください。
- ② 取手のボタンをはずし、取手をもってパネルを広げてください。
- ③ パネルの設置面の上端側に表示されている「設置ライン」まで段差にかけてください。



最大耐荷重は  
300kgです



## 特設公衆電話

### ○ 導入の趣旨

大規模災害発生時における被災者の通信手段確保のため、主要な避難所である市立小中学校等において、特設公衆電話の回線を設置し、電話機を配備しています。

### ○ 使用想定

- ・避難所の開設時に協力して設置してください。特設公衆電話用の回線は事前に取り付けられています。
- ・設置場所は避難所居住スペース付近（体育館の入り口付近など）を想定していますが、通話等での話し声が発生するため居住スペース内には設置しないでください。

### ○ 特設公衆電話の特徴は次のとおりです。

- ・災害時優先電話（災害時に電話が込み合っても、通信制限を受けない電話です）
- ・無料で利用可能
- ・停電時も利用可能（電話線から電気が供給されます）
- ・発信専用

### ○ 配備物品一覧

#### 【 外観 】



電話機の箱

#### 【 中身 】



本体

ハンドセット

電話線

※ 上の電話機一式については、防災備蓄倉庫に置いてあります。

※ 電話線を接続するモジュラージャックは、壁に設置されたモジュラーケーブルの先にあります。（以下のどちらかのモジュラージャックが配備されています）



## ○ 使用の手順・注意点

### ① 特設公衆電話の設置位置を決めます。

避難所居住スペース付近（体育館の入り口付近など）で設置位置を決めてください。通話等での話し声が発生するため居住スペース内には設置しません。（壁に設置されたモジュラーケーブルの長さも確認してください。）

### ② 防災備蓄倉庫などから電話機一式を、設置場所に持ってきて、モジュージャックと接続します。

モジュージャックの設置場所には次のような掲示がされています



### ③ 本体に受話器を取りつけ、電話機とモジュージャックを電話線で繋がします。



裏面の回線切り替えは「ダイヤル」となっていると、通話ができません。必ず「プッシュ」にした状態で使用してください。

### 特設公衆電話を使うためには・・・

携帯電話の電池が切れた時に、家族等の連絡先が分からないと特設公衆電話で連絡が取れません。日頃から災害時の連絡方法について話し合いをしてお互いの連絡先を確認しておきましょう。

## 下水道直結式トイレ

### ○ 導入の趣旨

災害発生時に避難所の給排水が使用できない場合に備え、避難所に災害用トイレを備蓄しています。

### ○ 使用想定

- ・避難所の既設トイレが使用できない場合に、震災用マンホール上にテントと便座を設置して使用します。（夜間使用できるように照明も設置してください。）
- ・下水道直結式トイレは、設置に際して条件があるため、使用の際は各区役所（区本部）に必ず連絡してください。
- ・下水道に直接排出するため、下水道が破断していなければ容量は関係なく使用できます。下水道が途中で破断している場合でもマンホールの容量分は貯留できます。

### ○ 配備物品一覧

#### 【外観】



○サイズ（横×奥行×高さ）  
約 100×100×40cm  
○重さ  
約 50kg

#### 照明(電池付き)



※トイレ 1 基につき照明  
1 個を配備しています。  
（トイレとは別梱包）

#### 【内容物】



トイレ本体部品



テントフレーム部品



テント外幕部品

#### 【設置後】

#### 震災用マンホール



※納品年度により外観・内容物が異なる場合があります。



## ○ 使用の手順・注意点

詳細は取り扱い説明書をご覧ください。

○ 設営は二人以上で行ってください。

① 梱包を開け、トイレ部品、説明書を確認します。

② トイレ本体部品を組み立てます。



③ トイレ本体の周りにテントフレーム、外幕を組み立てます。



照明は、照明ホルダーや照明本体のフックでトイレ内に設置することができます。



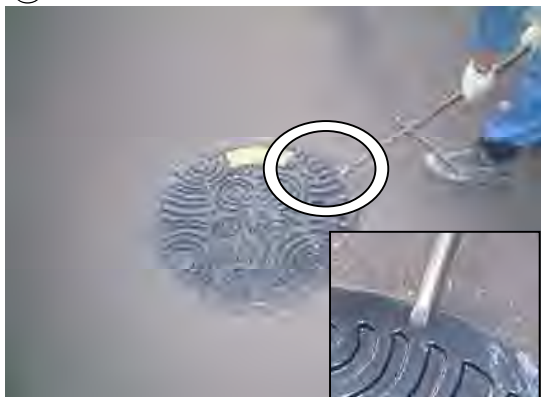
### 【注意】

- ・ 事前に定めた設置場所に組み立てて設置してください。
- ・ 照明は付属の単一乾電池で 72 時間連続して使用可能ですが、日中など不要な場合は消灯してください。

## 震災用ふたの取り外し方法

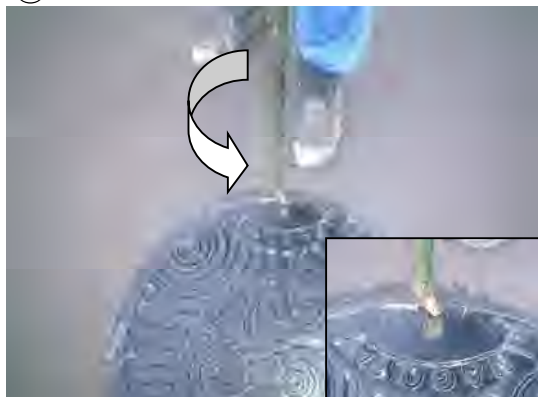
ふたの重量は約50kgあるので、腰痛や指・足をはさまないように気をつけてください。

①



ボール穴にボールを差し込み、受枠を支点にして、テコの原理でボールを押し下げて、ふたと受枠とのくい込みを外します。

②



ボール穴にボールを差し込みボールのT字が体と向かい合うように90度回転させます。

③



ボールでふたを手前斜め上に持ち上げ、引き寄せます。

④



引き寄せたふたを持ち上げながら、90度回転させます。

⑤



ふたを持ち上げ、受枠からふたを取り外します。

※外したふたは安全な場所に保管してください。

⑥



完了





## くみ取り式トイレ

### ○ 導入の趣旨

災害発生時に避難所の給排水が使用できない場合に備え、避難所に災害用トイレを備蓄しています。

### ○ 使用想定

- ・避難所の既設トイレが使用できない場合に、敷地内にテントと便座を組み立てて設置して使用します。便槽がいっぱいになったらくみ取りが必要です。
- ・くみ取り式トイレには固体と液体を分離する機能があるため、延長ホースを接続して液体分を便槽外（下水マンホール等）に放流してくみ取りなしで長期間使用することも可能です。

### ○ 配備物品一覧

#### 【外観】※ドントコイの場合



○サイズ（横×奥行×高さ）  
約 140×70×40cm  
○重さ  
約 50kg

#### 照明(電池付き)



#### 【内容物】※ドントコイの場合



※トイレ 1 基につき照明  
1 個を配備しています。  
(トイレとは別梱包)

#### 【設置後】



※納品年度により外観・内容物が異なる場合があります。

## ○ 使用の手順・注意点

組立方法の詳細は取扱説明書をご覧ください。

- 設営は二人以上で行ってください。
- 設置場所は安全で平坦な場所を選んでください。

①梱包を開け、トイレ部品、説明書を確認します。

②トイレ本体部品・フレームを組み立てます。



③フレームの周りにテントを広げます。



※周囲がグラウンド等で固定具を使用できる場合

部品箱に入っている固定具(ペグ、固定用ロープ等)で全体を固定します。

## ○延長ホースの接続（液体分を排出できる場合）



①本体の延長ホース(※1)を延ばす



②延ばした延長ホースの先を接続パイプとホースバンドで部品箱に入っている延長ホースとつなげる。

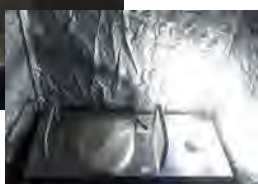
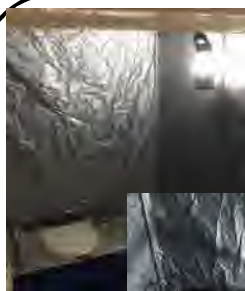
部品箱の延長ホース



③放流可能なマンホールまで延長ホースを延ばす。  
(下水道が無い場合は、浄化槽のマンホールに流す)

## ○ 使用の手順・注意点

### ○完成後



照明は、照明ホルダーや照明本体のフックでトイレ内に設置することができます。



約 2 日分のし尿をためることができます。  
※1 基/100 人/日使用時

### 【注意】

- ・事前に定めた設置場所に組み立てて設置してください。
- ・便槽がいっぱいになり、くみ取りが必要な場合は総務班へ連絡してください。
- ・仮設トイレは可能な限り男性用と女性用を分けるように配慮してください。
- ・照明は付属の単一乾電池で 72 時間連続して使用可能ですが、日中など不要な場合は消灯してください。





## 簡易パック式トイレ

### ○ 導入の趣旨

災害発生時に避難所の給排水が使用できない場合に備え、避難所に災害用トイレを備蓄しています。

### ○ 使用想定

- ・道路の寸断等によりくみ取りが滞ることも想定し、専用の袋内に用を足した後に凝固剤をかけて固めて可燃ごみとして処分できる簡易パック式トイレを配備しています。

### ○ 配備物品一覧

#### 【外観】「ベンリー袋」の場合



○サイズ（横×奥行×高さ）  
約 25×35×10cm  
○重さ  
約 2kg

#### 【中身】「ベンリー袋」の場合



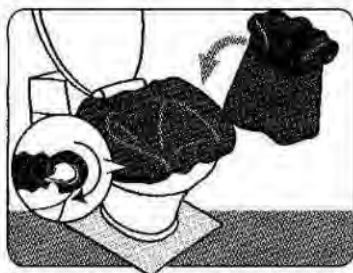
【内容物】1 箱 100 回分入り  
・排便袋（100 枚）  
・凝固剤（100 包）  
・説明書 1 部

#### 【既存トイレでの使用時】

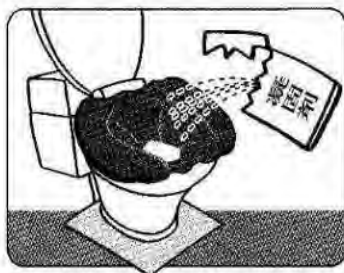


※納品年度により外観・内容物が異なる場合があります。

## ○ 使用の手順・注意点



① 既存トイレに専用排便袋をかぶせます。



② 用を足した後、凝固剤をふりかけて固めます。



③ 専用排便袋を取り出し、開口部を結びます。袋ごと可燃ゴミとして焼却処分。

### 【注意】

- 給排水が利用できない場合、既存の洋式トイレの個室で使用してください。
- 仮設トイレが使用できない場合の他、仮設トイレが使用できる場合も併用して使用することがあります。
- 使用後の簡易パック式トイレは、便袋のみをまとめてごみ袋に入れ、他の可燃ごみと分けて集積してください。（可燃ごみとして収集します。）
- 施設等にあるごみ袋などをかぶせた上で、①からの作業を行うと衛生的です。

## 簡易洋式便座

### ○ 導入の趣旨

災害発生時に、主な避難所となる小中学校の和式トイレを洋式トイレに変換して活用できるよう、市内の小中学校に和式便座の上に設置する軽量の便座を配備しています。

### ○ 使用想定

- ・和式便座の上に組み立てて設置し、高齢の方や障害のある方、子供たちなどが使いやすい洋式トイレとして使用できるようにします。
- ・「簡易パック式トイレ」と一緒に使うことにより、屋外の仮設トイレを利用するのが困難な方や不安を感じる方が既設の個室空間を活用して簡易トイレを作ることができます。

### ○ 配備物品一覧

#### 【外観】



○サイズ（横×奥行×高さ）  
約 70×60×3cm  
○重さ  
約 1kg

#### 【中身】



#### 【和式トイレでの使用時】

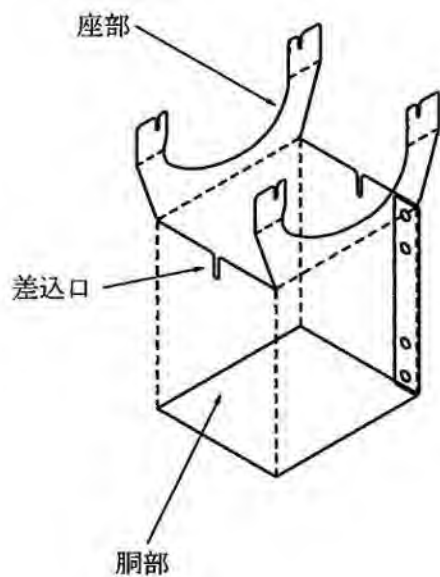


#### 【簡易パック式トイレ使用時】

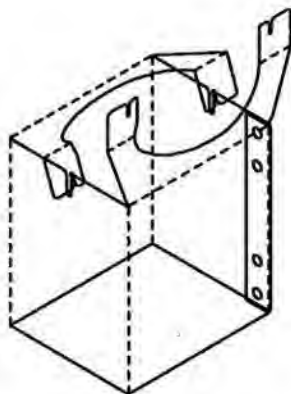


## ○ 使用の手順・注意点

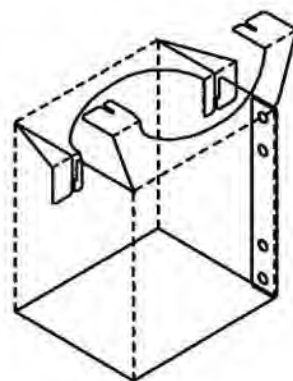
①箱を開きます。



②座部両端にある差込を胴部差込口に組込みます。

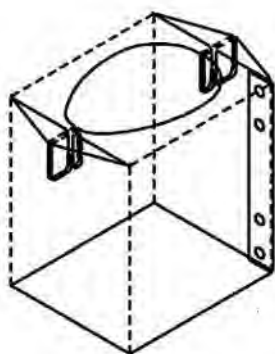


③対面にある座部も同様に組込みます。



【組立後】

④座部が浮き上がらないようにしっかり組み込まれていることを確認してください。



【簡易パック式トイレ使用时】



※排泄袋をかぶせて使用します。

【注意】

- ・既設の和式トイレの個室で便器の上に設置して使用してください。
- ・既設トイレの給排水が利用できない場合は、必ず簡易パック式トイレを組み合わせて使用してください。



## 地下式給水栓資器材

### ○ 導入の趣旨

災害時に断水が発生した場合に、地域のみなさまが自ら操作して飲料水が確保できる施設として、原則として各市立小中学校の校門付近に、地下式給水栓を整備しています。

### ○ 使用想定

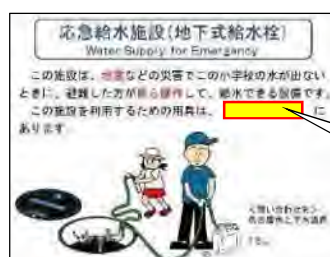
- ・災害時、地域で断水が発生した場合にご使用ください。なお、市立小中学校および地下式給水栓までの配水管は耐震化されておりますので、まずは小中学校の蛇口から水が出るかご確認ください。
- ・公道上に設置されている給水栓を使用する際は、車両等の通行にご注意ください。
- ・小中学校に避難された方以外の方（自宅避難者等）もご使用ください。
- ・地域の訓練等でご使用になりたい場合は、区役所又は上下水道局担当営業所へご相談ください。

### ○ 配備物品一覧

#### 【 外観 】



#### 【案内看板】



#### 【開設用具】



地下式給水栓の開設用具

- ①地下式給水栓セット【白色袋】×1  
 [ a.マニュアル、b.ふた開閉器、c.簡易残塩測定具、  
 d.ビニルホース ×4本、e.札（簡易水質検査） ]
- ②つま先保護具 ×1足
- ③セフティコーン ×4個
- ④コーンバー ×3本
- ⑤セフティコーンおもしろ ×4個

開設用具の保管場所を記載

※案内看板は、地下式給水栓近くのフェンス等に設置されています。



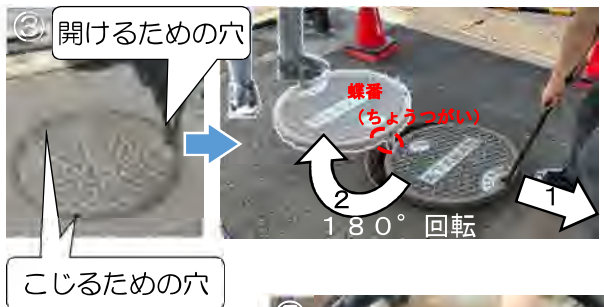
## ○ 使用の手順・注意点

※ 開設方法の詳細については「地下式給水栓セット【白色袋】」内にある『「地下式給水栓」操作マニュアル』をご覧ください。

- ① セフティコーンおよびコーンバーで作業スペースを確保する。
- ② つま先保護具を両足に装着する。
- ③ マンホールを開ける。

### 【要点】

- a) マンホールふたを浮かせるための2か所（2時、10時方向）の穴にふた開閉器のI字部分を差し込んで開閉器の持ち手を下に押し、ふたを軽く浮かせる。
- b) マンホールふたの6時方向にあるふたを開けるための穴にふた開閉器のT字部分を差し込み、(1) 自分の方向へ引っばった後、(2) ふたの蝶番（ちょうつがい）を支点に180°水平に回転させます。（ふたは重たいので（約40kg）、足の上への落下や腰を傷めないようご注意ください。）



- ④ ジャ口にかかっている袋を外し、不意の水の噴出を防ぐためにジャ口が閉まっているか確認する。
- ⑤ 横になっている緑色のハンドルを垂直に立てる。
- ⑥ ジャ口にビニルホースを差し込み、ジャ口をひねって水を出してください。（すぐに使用せず、2～3分間水を出して、水の色や濁りが無いことを確認してください。）

- ⑦ 水質検査をする。

### 【要点】

- a) ジャ口の水をコップにくむ。
- b) 簡易残塩測定具のチューブ先端のひもを抜き、中の空気を追い出した後、チューブの穴を水の中に入れ、水を吸い込む。
- c) チューブを取り出しよく振り10秒待った後、「標準色」と比較し、色の変化が（0.1mgCL/L以上）あることを確認する。（変化が無い場合は、2～3分間水を出し、再度測定する。）



**【注意】** 色の変化が0.1mgCL/L以上でなければ、衛生上安全でないため、使用は控えてください。色が濃くても問題ありません。

- ⑧ 給水準備は完了です。札（簡易水質検査）をセフティコーンに取り付けて、みなさまで応急給水を行ってください。



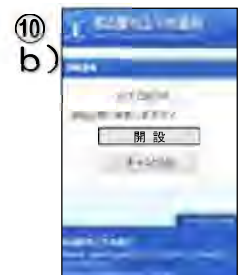
- ⑨ 指定避難所の総務班を通して、区本部に応急給水を開始したことを報告してください。

※ 水の出が悪い場合、水が出ない場合も同じように報告してください。

- ⑩（お願い）二次元コードを利用して地下式給水栓の開設情報を登録してください。

### 【要点】

- a) マンホール内部または用具セット内にある施設IDカードの二次元コードをスマートフォンで読み取り、登録画面を表示する。
- b) 施設名を確認し、**開設** ボタンを選択する。
- c) 上下水道局公式ウェブサイト、該当施設の開設情報が登録されます。



## 発電機（カセットボンベ式発動機付発電機）

### ○ 導入の趣旨

大規模災害が発生した際に、停電が発生することが見込まれるため、避難所機能の維持及び安全確保、並びに災害救助地区本部や医療救護所の電源確保のために、主要な避難所である市立小中学校等へ発電機を配備しています。

### ○ 使用想定

- ・市立小学校には避難スペース用 1 台、災害救助地区本部用 1 台の計 2 台を、市立中学校には避難スペース用 1 台、医療救護所用 1 台の計 2 台を配備しています。
- ・投光器、デジタル移動無線などへの電力供給を想定していますが、避難スペースでは携帯電話の充電等への電力供給にも使用できます。（定格出力 900VA）
- ・避難所が開設され電源の確保が必要な場合に設置をお願いします。
- ・発電機は機器の特性上 1 年に 1 回程度の試運転をお願いします。試運転については、避難所開設・運営訓練や「避難所運営マニュアル」に基づく備蓄物資の確認といった機会を活用して実施してください。試運転を兼ねて、訓練等以外の地域の行事等に使用しても構いません。ただし、備蓄しているガスボンベは試運転の際には使用できません。

### ○ 配備物品一覧

#### 【 外観 】



○サイズ  
約 43×34×59cm  
（横×奥行×高さ）  
○重さ  
約 22kg

#### 【 中身 】



発電機

#### 【 その他資機材 】



エンジンオイル  
（缶切りもあります）



コードリール



ガスボンベ  
（寒冷地用も 2 本あります）

## ○ 使用の手順・注意点

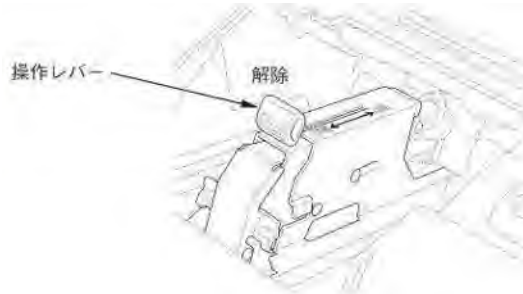
### 【注意】

- ・発電機は、屋内・水のかかる場所では使用できません。
- ・排気は風とおりの良い場所に向けてください。
- ・カセットボンベは、使用する前に腐食等の異常がないか確認してください。

①ボンベカバーを開けます。



②操作レバーが解除位置にあることを確認します。



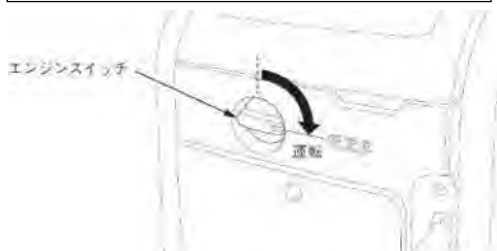
③カセットボンベをセットします。



④操作レバーを固定位置にスライドします。



⑤エンジンスイッチを運転位置に合わせます。



⑥始動グリップを引いて重くなる場所を探し、その重くなったところから勢いよくグリップを引きます。



⑦約1分間暖機運転を行います。

※ 燃料のカセットボンベは発電機をエコモードで使用した場合に、約 72 時間稼働できるように備蓄されています。

※ 使用後、長期間保管する前には、配管内のガスを完全に使い切る必要があります。配管内のガスを完全に使い切る方法として、エンジンがかかっている状態で、ガス缶を抜き取り、ガス欠でエンストさせて停止させるか、ガス缶を抜いた状態で、エンジンを始動させ、配管内のガスを使い切る方法になります。使用した際には保管前に必ずこれらの手順を行ってください。

## 投光器

### ○ 導入の趣旨

大規模災害が発生した際に、停電が発生することが見込まれるため、避難所機能の維持及び安全確保、並びに災害救助地区本部や医療救護所の明かり確保のために、主要な避難所である市立小中学校等へ投光器を配備しています。

### ○ 使用想定

- ・発電機と一緒に使用して、周りを照らします。
- ・市立小学校には避難スペース用 1 台、災害救助地区本部用 1 台の計 2 台を、市立中学校には避難スペース用 1 台、医療救護所用 1 台の計 2 台を配備しています。
- ・避難所が開設され灯りの確保が必要な場合に設置をお願いします。
- ・試運転を兼ねて、訓練等以外の地域の行事等に使用しても構いません。

### ○ 配備物品一覧

#### 【 外観 】



○サイズ  
約 55×54×61cm (横×奥行×高さ)  
○重さ  
約 8kg



#### 【 中身 】



灯体

三脚



投光器組立後





## ○ 使用の手順・注意点

3

締付ツマミ

任意の高さで締付ツマミで固定する。  
締め付けは手で行うこと。

4

灯体の締付ネジで三脚スタンドに取り付ける。



1

三脚ベース  
締付ツマミ

三脚スタンドをいっばいまで広げ、三脚ベース締付ツマミで固定する。

2

先端パイプは抜ける構造になっているので、赤ライン以上は絶対に伸ばして使用しない。



### 【注意】

- 三脚スタンドを設置する場合、安定の良い平坦な場所に垂直に設置してください。
- 風の強い場合は、転倒防止のため、スタンド下部に砂袋などで倒れ止めの処置を必ず行ってください。
- 照明機器の電源ケーブルに人が引っかからないよう、ケーブルは支柱に沿って下ろし、地面を這わせてください。
- 照明器具を取り付けた状態で高さ調節を行ったり、大きく移動や運搬をしたりしないでください。



## 衛生用品

### 1 衛生用品キット

#### ○ 導入の趣旨

避難所を開設・運営するにあたって、新型コロナウイルスなどの感染症対策として必要な衛生用品等を5種類のキットにして配備しています。

#### ○ 使用想定

避難生活における新型コロナウイルスなどの感染症対策として使用します。各キットの具体的な使用方法は、各キット内に配備されている説明書等を参照します。

#### ○ 配備物品一覧

##### 【外観】



- ・受付用キット
- ・施設消毒用キット
- ・感染者緊急対應用キット

プラスチックケース

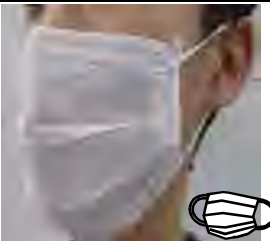


- ・避難者全員用キット①
- ・避難者全員用キット②

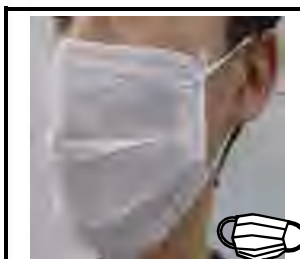
段ボール箱

##### 【中身】

○受付用キット：避難所の受付開始にあたって必要なものが入っています。

|                                                                                     |                                                                                     |                                                                                      |                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |  |  |
| 非接触式検温器                                                                             | 使い捨てマスク                                                                             | フェイスシールド                                                                             | 使い捨て手袋                                                                                |
|  |  |  |                                                                                       |
| 養生テープ（赤・黄・緑）                                                                        | ポリ袋                                                                                 | ゴミ袋（可燃・不燃・資源）                                                                        |                                                                                       |

○避難者全員用キット①・避難者全員用キット②：避難者全員が使用するものが入っています。

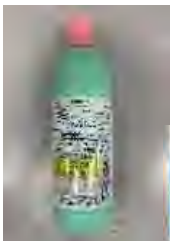


①使い捨てマスク



②手指消毒液

○施設消毒用キット：避難所の施設消毒時に必要なものが入っています

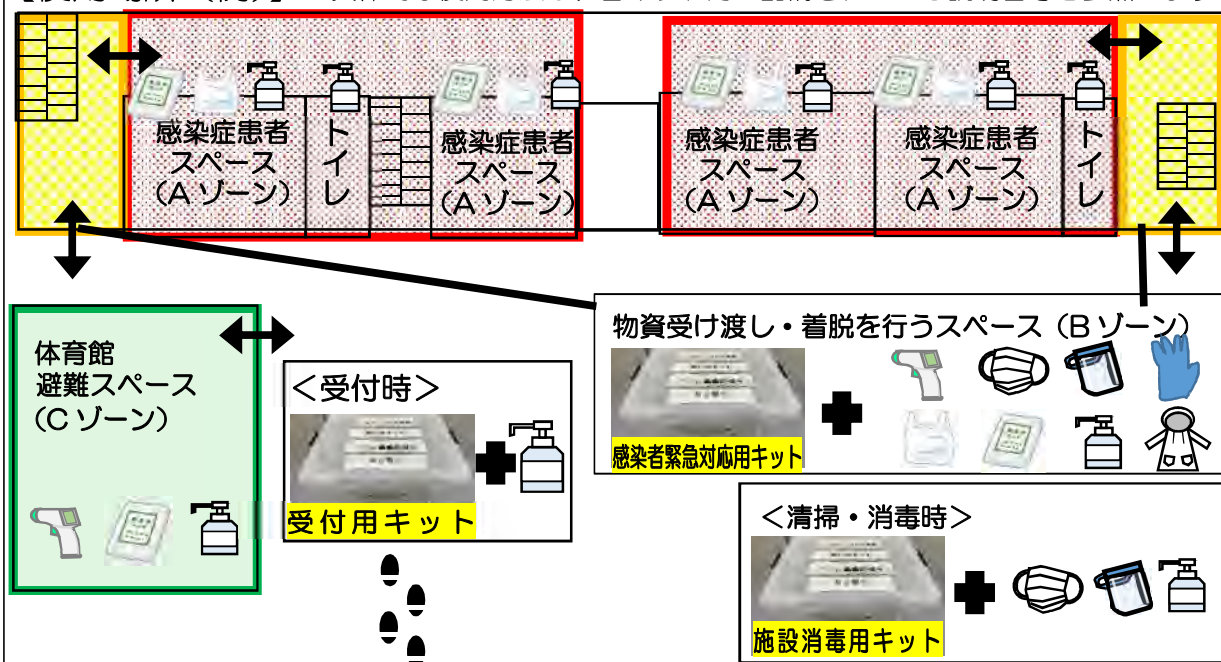
|                                                                                   |                                                                                   |                                                                                    |                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |  |  |
| 塩素系漂白剤                                                                            | ペーパータオル                                                                           | 使い捨て手袋                                                                             | ポリ袋                                                                                 |
|  |  |                                                                                    |                                                                                     |
| ごみ袋（可燃）                                                                           | レインコート                                                                            |                                                                                    |                                                                                     |

○感染者緊急対应用キット：避難者の容体が急変した際など、緊急対応に必要なものが入っています。※市立小中学校のみ

|                                                                                    |                                                                                    |                                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |  |
| アイソレーションガウン                                                                        | N95 マスク                                                                            | 養生テープ（緑）                                                                            |

## ○ 使用の手順・注意点

【使用場所（例）】 ※具体的な使用方法は、各キット内に配備されている説明書等を参照します



【配備数量】

| 種 別                           | 品 目                        | 数 量                              |          |
|-------------------------------|----------------------------|----------------------------------|----------|
|                               |                            | 市立小中学校                           | 市立小中学校以外 |
| 受付用キット                        | 非接触式検温器                    | 5個                               | 3個       |
|                               | 使い捨てマスク（50枚入り）<br>（スタッフ用）  | 1箱                               |          |
|                               | フェイスシールド                   | 15個                              | 9個       |
|                               | 使い捨て手袋（50双入り）              | 1箱                               | 1箱       |
|                               | 養生テープ（赤・黄・緑）               | 各5巻                              |          |
|                               | ポリ袋（50枚入り）                 | 収容人数に応じて配備                       |          |
|                               | 名古屋市指定ごみ袋（可燃・不燃・資源）（10枚入り） | 各5袋                              | 各3袋      |
|                               | マニュアル及び説明書関係               | 一式                               |          |
| 避難者全員用<br>キット①                | 使い捨てマスク（50枚入り）<br>（避難者用）   | 収容人数に応じて配備<br>（市立小中学校へは小人用を1箱配備） |          |
| 避難者全員用<br>キット②                | 手指消毒液                      | 収容人数に応じて配備                       |          |
| 施設消毒用<br>キット                  | 塩素系漂白剤                     | 5本                               | 3本       |
|                               | ペーパータオル（200枚入り）            | 15箱                              | 9箱       |
|                               | 使い捨て手袋（50双入り）              | 5箱                               | 3箱       |
|                               | ポリ袋（100枚入り）                | 5袋                               | 3袋       |
|                               | 名古屋市指定ごみ袋（可燃）<br>（10枚入り）   | 5袋                               | 3袋       |
|                               | レインコート                     | 15着                              | 9着       |
|                               | 説明書関係                      | 一式                               |          |
| 感染者緊急<br>対応用キット<br>（市立小中学校のみ） | アイソレーションガウン                | 4着                               | -        |
|                               | N95マスク                     | 10枚                              | -        |
|                               | 養生テープ                      | 1巻                               | -        |
|                               | 説明書関係                      | 一式                               |          |

## 2 段ボールベッド・簡易ベッド・パーティション

### ○ 導入の趣旨

高齢者や基礎疾患がある方は新型コロナウイルス感染症で重症化の傾向があるとされているため、福祉避難スペースが確保できない場合や要配慮者の人数が多い場合に段ボールベッド・簡易ベッド・パーティションを活用することで、要配慮者への感染を防ぎます。

- ☆段ボールベッド・・・本市備蓄倉庫、各区役所に配備
- ☆簡易ベッド・・・・・・本市備蓄倉庫、市立小中学校に配備
- ☆パーティション・・・・本市備蓄倉庫、各区役所、市立小中学校に配備
- ☆大規模災害発生時には、避難所環境を改善するため、段ボールベッドの供給協定を結んでいます。

### ○ 使用想定

避難生活における新型コロナウイルスなどの感染症対策として要配慮者が使用します。

### ○ 配備物品一覧

#### 【段ボールベッド】



- ・ハニー段ベッド… 2 枚
- ・アルミ遮熱シート… 1 枚
- ・パーティション… 1 枚

#### 【パーティション】



- ・パーティション… 1 個
- ・マット… 1 枚

#### 【簡易ベッド】



- ・簡易ベッド… 1 式

### ○ 使用の手順・注意点

#### 【段ボールベッド】



- ① 弁ロックを下折にする
- ② 左右のフラップを折る

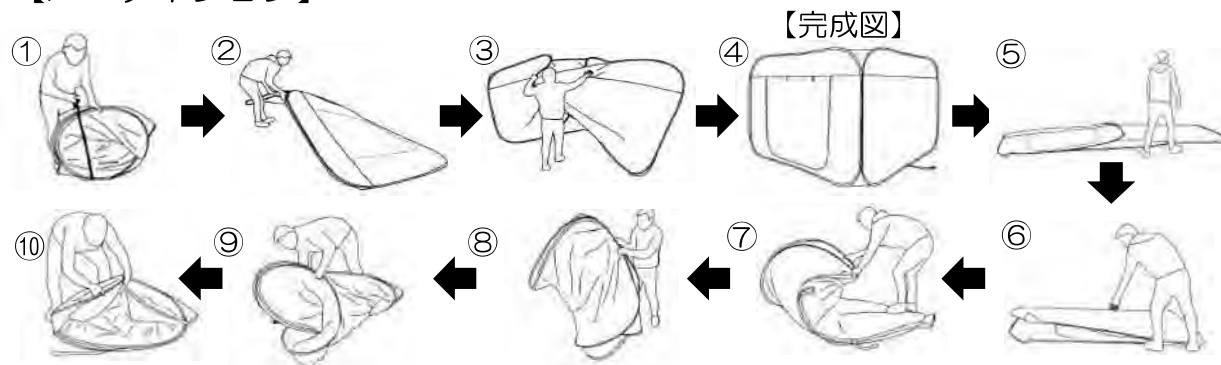
- ③ 弁ロックを下折にする
- ④ ①で下折にした  
弁ロックを上に戻す

- ⑤ 側面のマジックテープを  
張り合わせる
- ⑥ アルミ遮熱シートを敷き  
パーティションで囲う

【完成図】



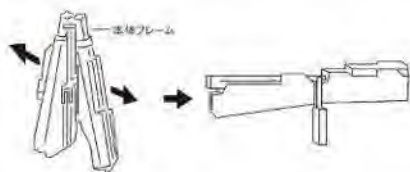
## 【パーティション】



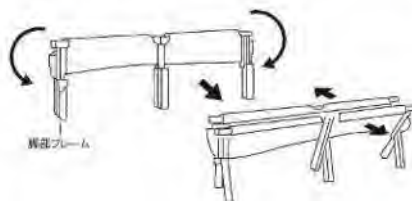
- ＜組み立て＞①～②パーティションを長方形の形に広げる  
 ③～④中心ワイヤーの上部を持ち、引き上げてパーティションを立ち上げる
- ＜収納＞⑤ 互いの角を押し、パーティションを平らな長方形にして置く  
 ⑥～⑦さらに半分に折り、対角線上のワイヤーを掴み折り畳む  
 ⑧～⑩上部を下に押し下げ3つの輪に折り、すべての円を重ね、収納する

## 【簡易ベッド】

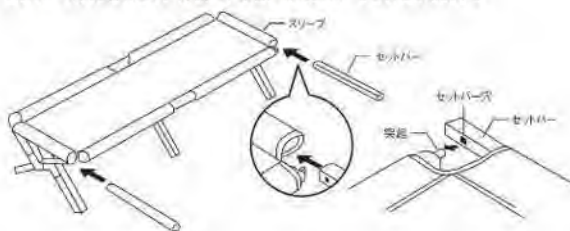
1. 平坦な場所を選んで本体フレームが一直線になるまで開いてください。



2. 両端の脚部フレームを中央の脚部フレームと並行になる位置まで回転させてから、本体フレームを開いてください。



3. シート両端のスリーブにセットバーを通し、本体フレーム先端の突起にセットバーの穴を合わせて、片側（1本目）のセットバーをセットしてください。



4. 本製品は性質上、《生地》がきつめになっております。  
 2本目のセットバーをセットする際は、①～②の手順で行なってください。

- ①セットバーの両先端をもってシートを手前引き、セットバーの穴を下向きにした状態で本体フレームの先端に引っ掛けてください。  
 ②本体フレーム先端の突起とセットバーの穴の位置を合わせながら、セットバーを下方向に回すようにセットしてください。







## 災害用公衆無線LANアクセスポイント等資材

### ○ 導入の趣旨

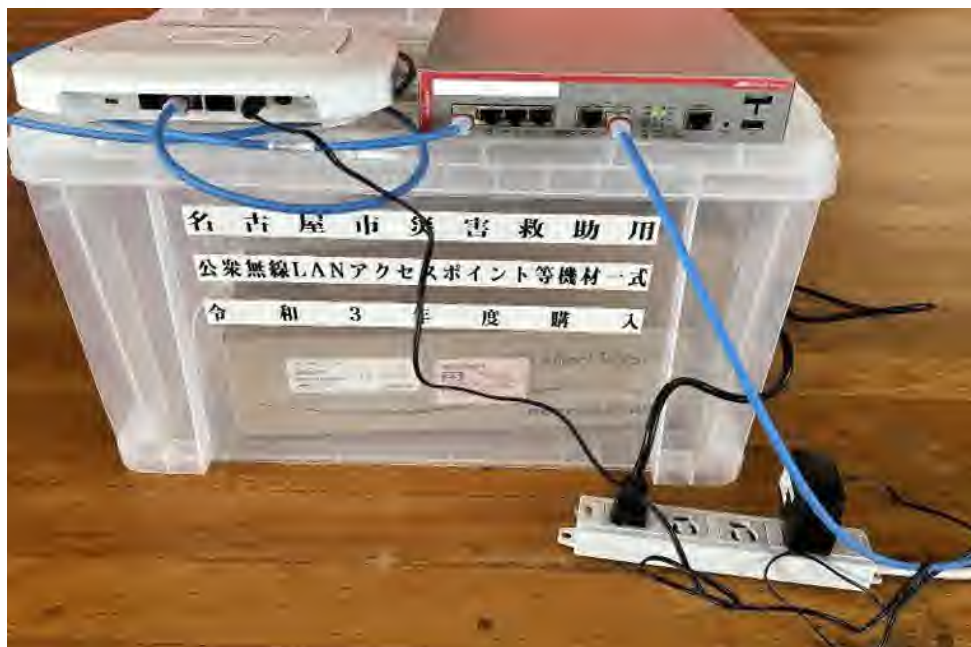
災害時に避難者に対して、Wi-Fi 環境を利用し、携帯端末等で情報収集や安否確認等を行えるよう、主要な避難所となる市立小中学校に配備しています。

### ○ 使用想定

- ・災害情報等の収集や安否確認等を行う際に使用します。

### ○ 配備物品一覧

#### 【外観】



#### 【中身】



無線ルータ  
(電源ケーブル付属)



アクセスポイント  
(AC アダプタ付属)



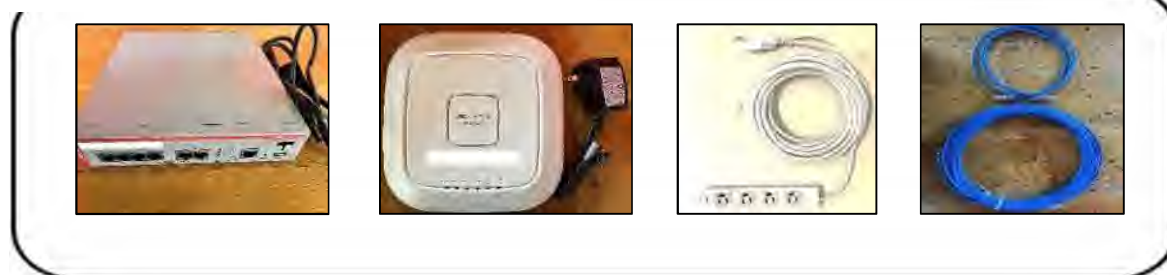
OA タップ



LAN ケーブル×2 個

## ○ 使用の手順・注意点

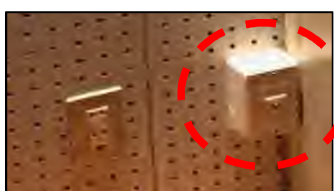
### 1. 容器から資機材を取り出す。(計 4 種類)



### 2. 資材を設置する。(以下 4 手順)

#### ① 情報コンセントと無線ルータ(ETH1)を長いLANケーブルでつなぐ。

※情報コンセントが既に使用されている場合があります。LANケーブルを差し替えてください。



情報コンセント



無線ルータ (ETH1)

#### ② 無線ルータ(LAN ポート) とアクセスポイント(LAN ポート) を短いLANケーブルでつなぐ。

※誤って LAN ポートと情報コンセントを直接接続しないでください。

通信障害が発生します。



無線ルータ (LAN ポート)



アクセスポイント (LAN ポート)

#### ③ 無線ルータと付属の電源ケーブルをつなぎ、無線ルータの電源を入れる。



無線ルータ



電源ケーブル (OA タップと接続)



無線ルータが点灯

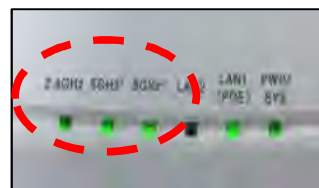
#### ④ アクセスポイントと付属の AC アダプタをつなぎ、アクセスポイントの電源を入れる。



アクセスポイント



AC アダプタ (OA タップと接続)



アクセスポイントが点灯



**名古屋市 防災危機管理局 地域防災課**

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 1 号

TEL 052-972-3591    FAX 052-962-4030

令和 6 年 4 月発行



事前準備編

指定避難所名

〇〇小学校

区本部・地区本部などの電話番号

| 場 所                      | 電 話 番 号                   |
|--------------------------|---------------------------|
| 区 本 部<br>（千種区役所総務課）      | 〇〇—〇〇〇〇<br>（デジタル移動無線）〇〇〇〇 |
| 地 区 本 部<br>（ 〇 〇 小 学 校 ） | 〇〇—〇〇〇〇<br>（デジタル移動無線）〇〇〇〇 |
| 指 定 避 難 所<br>代 表 電 話     | 〇〇—〇〇〇〇<br>（デジタル移動無線）〇〇〇〇 |
|                          |                           |
|                          |                           |

作成日 2025年 2月 3日

## ～はじめに～

この事前準備編は、災害発生時にすばやく指定避難所を開設し、円滑に運営ができるよう、あらかじめ決めておくという事項が記載されています。

災害時は非常に混乱しますので、日頃から指定避難所ごとに、区役所、災害対策委員、地域の皆さま及び施設管理者と話し合っ、管理運営に必要な事項を決めておきましょう。

### \* あらかじめ準備しておくこと \*

#### 別表

- 1 指定避難所の鍵の所持者（近隣協力員等）
- 2 指定緊急避難場所の利用方法
- 3 避難スペース
- 4 目的別スペース（屋内）
- 5 目的別スペース（屋外）
- 6 資機材
- 7 備蓄物資
- 8 施設内使用可能物品
- 9 共同生活のルール
- 10 協議事項
- 11 避難所管理組織図

#### 12 施設平面図※

※目的別スペース等を記載したもの

別表 1 指定避難所の鍵の所持者（近隣協力員等）

| 氏 名        | 住 所 ・ 電 話 番 号 | 備 考     |
|------------|---------------|---------|
| ※個人情報のため削除 |               | 区政協力委員長 |
|            |               | 近隣協力員   |
|            |               | 近隣協力員   |

別表 2 指定緊急避難場所の利用方法

|             | 指定緊急<br>避難場所 | 開錠等利用方法                |
|-------------|--------------|------------------------|
| 洪水・内水<br>氾濫 | 校舎内          |                        |
| 土砂災害        | 校舎内          |                        |
| 高潮          | —            |                        |
| 津波          | —            |                        |
| 地震の揺れ       | グラウンド        | 時間外の鍵の開錠者は、別表 1<br>の通り |

別表3 避難スペース  
(1) 居住スペース

| 指定する場所   | 階数         | 受入れ<br>可能面積        | 受入れ<br>可能人員 | 車イス等<br>避難可否                        | 空調設備<br>の有無                         | 注意事項等           |
|----------|------------|--------------------|-------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------|
| ① 体育館    | 体育館棟<br>2階 | 514 m <sup>2</sup> | 257 名       | 可・ <input checked="" type="radio"/> | 有・ <input checked="" type="radio"/> | ストーフ（暖房）<br>のみ  |
| ② プレイルム2 | 体育館棟<br>1階 | 90 m <sup>2</sup>  | 45 名        | <input checked="" type="radio"/> ・否 | <input checked="" type="radio"/> ・無 | 簡易スロ<br>ープ設置    |
| ③ 会議室    | 南棟<br>2階   | m <sup>2</sup>     | 名           | 可・ <input checked="" type="radio"/> | 有・無                                 |                 |
| ④ 図書室    | 中棟<br>1階   | m <sup>2</sup>     | 名           | 可・ <input checked="" type="radio"/> | 有・無                                 | やむを得な<br>い場合に使用 |
| ⑤        | 階建て<br>の 階 | m <sup>2</sup>     | 名           | 可・否                                 | 有・無                                 |                 |
| ⑥        | 階建て<br>の 階 | m <sup>2</sup>     | 名           | 可・否                                 | 有・無                                 |                 |
| ⑦        | 階建て<br>の 階 | m <sup>2</sup>     | 名           | 可・否                                 | 有・無                                 |                 |
| ⑧        | 階建て<br>の 階 | m <sup>2</sup>     | 名           | 可・否                                 | 有・無                                 |                 |

(2) 福祉避難スペース（要配慮者のための部屋など）

| 指定する場所   | 階数         | 受入れ<br>可能面積       | 受入れ<br>可能人員 | 車イス等<br>避難可否                        | 空調設備<br>の有無                         | 注意事項等        |
|----------|------------|-------------------|-------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------|
| ① プレイルム1 | 体育館棟<br>1階 | 90 m <sup>2</sup> | 45 名        | <input checked="" type="radio"/> ・否 | <input checked="" type="radio"/> ・無 | 簡易スロ<br>ープ設置 |
| ②        | 階建て<br>の 階 | m <sup>2</sup>    | 名           | 可・否                                 | 有・無                                 |              |
| ③        | 階建て<br>の 階 | m <sup>2</sup>    | 名           | 可・否                                 | 有・無                                 |              |

※ ○数字は開設の順序

別表4 目的別スペース（屋内）

| 利 用 目 的                            | 指 定 す る 場 所            | 注 意 事 項 等              |
|------------------------------------|------------------------|------------------------|
| 地 区 本 部<br>（原則、市立小学校）              | 特別活動室                  |                        |
| 運営管理室（代表管<br>理者・各班班員）              | 特別活動室                  |                        |
| 応 急 救 護 所<br>（市立中学校以外）             | プレイルーム1                |                        |
| 医 療 救 護 所<br>（市立中学校）               | —                      |                        |
| 感 染 症 患 者<br>スペース（Aゾーン）<br>（発生時のみ） | 図工室                    |                        |
| 情報機器（テレビ等）<br>設 置 場 所              | 体育館                    | 体育館放送室保管<br>(2019年度配備) |
| 災害時特設公衆電話<br>設 置 場 所               | 特別活動室                  |                        |
| 通信環境（Wi-Fi）<br>設 置 場 所             | 体育館ステージ上               |                        |
| 情 報 掲 示 場 所                        | 特別活動室付近<br>北棟北側        |                        |
| 救 援 物 資 等<br>集 積 場 所               | ・プレイルーム2軒下<br>・体育館棟廊下奥 |                        |



| 利 用 目 的       | 指 定 す る 場 所 | 注 意 事 項 等 |
|---------------|-------------|-----------|
| 更 衣 場 所       |             |           |
| 授 乳 場 所       |             |           |
| A E D 設 置 場 所 | 職員室前廊下      |           |
|               |             |           |
|               |             |           |
|               |             |           |
|               |             |           |
|               |             |           |
|               |             |           |
|               |             |           |
|               |             |           |
|               |             |           |

別表5 目的別スペース（屋外）

|                                 | 設 置 場 所            | 注 意 事 項 等                   |
|---------------------------------|--------------------|-----------------------------|
| ごみ集積場所                          | プ ー ル 南            | 名古屋市の分別ルールに従い分別すること         |
| くみ取り式<br>仮設トイレ                  | プ ー ル 東            |                             |
| 下水道直結式<br>仮設トイレ                 | 学 校 正 門 前<br>道 路 上 | 使用にあたっては必ず地区本部（区本部）に連絡をとること |
| 地下式給水栓<br>（市立小・中学校）             | 学 校 正 門 前<br>道 路 上 | 操作セットは防災備蓄倉庫にあり             |
| ペ ッ ト の<br>避 難 場 所<br>（市立小・中学校） | 体育館北側階段下           |                             |
|                                 |                    |                             |
|                                 |                    |                             |

別表 6 資機材

| 品 名                       | 数量    | 保 管 場 所<br>(使用方法) | 備 考                                 |
|---------------------------|-------|-------------------|-------------------------------------|
| ★避難所開設セット                 | 2 箱   | 屋内防災備蓄倉庫          | 段ボール                                |
| ★避難所開設キット                 | 1 セット | 屋内防災備蓄倉庫          | プラスチック<br>ケース                       |
| くみ取り式<br>仮設トイレ            | 2     | 屋外防災備蓄倉庫          | 施設班により<br>設置                        |
| 下水道直結式<br>仮設トイレ           | 1     | 屋外防災備蓄倉庫          | 施設班により<br>設置                        |
| 仮設トイレ用<br>照明              | 3     | 屋内防災備蓄倉庫          | 施設班により<br>設置                        |
| * 発電機                     | 2     | 屋内防災備蓄倉庫          | 施設班により<br>設置                        |
| * 投光器                     | 2     | 屋内防災備蓄倉庫          | 施設班により<br>設置                        |
| * コードリール                  | 2     | 屋内防災備蓄倉庫          | 施設班により<br>設置                        |
| * 地下式給水栓<br>資機材           | 一式    | 屋内防災備蓄倉庫          | 食料班により<br>設置                        |
| * 簡易式スロープ                 | 2     | 屋内防災備蓄倉庫          | 避難スペースへの<br>段差がある避難所                |
| * 特設公衆電話                  | 3     | 屋内防災備蓄倉庫          | ・施設班により設置<br>・特別活動室内モジ<br>ュラージャック有  |
| * テレビ                     | 一式    | 体育館放送室            | 施設班により<br>設置                        |
| * 公衆無線 LAN<br>アクセスポイント等資材 | 一式    | 屋内防災備蓄倉庫          | 施設班により<br>設置                        |
| * 間仕切りセット                 | 2 セット | 屋外防災備蓄倉庫          | 施設班により<br>設置                        |
| 避難所運営用テント                 | 1     | 屋外防災備蓄倉庫          | (付属品)重り 12、<br>天幕 1、横幕 3、<br>キャリー 1 |

★印は、避難所開設に最低限必要となる物品等をまとめたもの

\*印は原則、市立小・中学校に配備

別表 7 備蓄物資

| 品 名                    | 数量         | 保 管 場 所<br>(解錠方法) | 備 考                                               |
|------------------------|------------|-------------------|---------------------------------------------------|
| ビスケット                  | 1,000<br>食 | 屋内防災備蓄倉庫          | 食料班により配分                                          |
| アルファ化米<br>(梅がゆ)        | 100 食      | 屋内防災備蓄倉庫          | 食料班により配分                                          |
| アルファ化米<br>(わかめ)        | 350 食      | 屋内防災備蓄倉庫          | 食料班により配分                                          |
| アルファ化米<br>(きのこ)        | 350 食      | 屋内防災備蓄倉庫          | 食料班により配分                                          |
| 飲料水<br>(500ml)         | 15 箱       | 屋内防災備蓄倉庫          | 食料班により配分<br>360 本                                 |
| 毛 布                    | 350 枚      | 屋内防災備蓄倉庫          | 物資班により配分                                          |
| *日用品セット                | 50<br>セット  | 屋内防災備蓄倉庫          | 物資班により配分                                          |
| 簡易パック式<br>トイレ          | 1,600<br>個 | 屋外防災備蓄倉庫          | 施設班により設置                                          |
| *簡易洋式便座                | 15 個       | 屋外防災備蓄倉庫          | 施設班により設置                                          |
| *ガスボンベ                 | 146 本      | 屋内防災備蓄倉庫          | 発電機用(内 2 本<br>は寒冷地仕様)                             |
| 避難所での外国人<br>被災者対応マニュアル | 1 冊        | 屋内防災備蓄倉庫          | 別冊                                                |
| 生理用品<br>(小学校のみ)        | 1 箱        | 屋内防災備蓄倉庫          | 紙おむつ(子ども用<br>64 枚・大人用 13<br>枚)、生理用品<br>(昼用 220 枚) |
| 衛生用品                   | 一式         | 屋内防災備蓄倉庫          | 別表 7-2                                            |
|                        |            |                   |                                                   |

\*印は原則、市立小・中学校に配備

## 別表 7-2 ○○学区 ○○小学校 衛生用品

### 受付キット

| 品名                           | 数量 |
|------------------------------|----|
| 非接触式検温器【個】                   | 5  |
| 使い捨てマスク(50 枚入)(受付用)【箱】       | 1  |
| フェイスシールド【枚】                  | 15 |
| 使い捨て手袋(50 双入り)【箱】            | 1  |
| 養生テープ(赤)【巻】                  | 5  |
| 養生テープ(黄)【巻】                  | 5  |
| 養生テープ(緑)【巻】                  | 5  |
| ポリ袋(50 枚入)【袋】                | 4  |
| 名古屋市指定ごみ袋(可燃)(10 枚入)【袋】      | 5  |
| 名古屋市指定ごみ袋(不燃)(10 枚入)【袋】      | 5  |
| 名古屋市指定ごみ袋(資源)(10 枚入)【袋】      | 5  |
| 飛沫防止カウンターシールド                | 4  |
| 受付用キット説明書+様式 1(クリアファイル入り)【冊】 | 1  |

### 避難者全員用キット①(マスク)

| 品名                                | 数量 |
|-----------------------------------|----|
| 避難者全員用マスク(大人用)(50 枚入り)【箱】         | 11 |
| 避難者全員用マスク(幼児用)(50 枚入り)【箱】※小・中学校のみ | 1  |

### 避難所衛生用品キット(アルコール消毒液)

| 品名                 | 数量 |
|--------------------|----|
| アルコール消毒液(500ml)【本】 | 36 |

### 施設消毒用キット

| 品名                        | 数量 |
|---------------------------|----|
| ペーパータオル(200 組 400 枚入り)【箱】 | 15 |
| 使い捨て手袋(50 双入り)【箱】         | 5  |
| ポリ袋(100 枚入り)【袋】           | 5  |
| 名古屋市指定ごみ袋(可燃)(10 枚入り)【袋】  | 5  |
| レインコート【着】                 | 15 |
| 塩素系漂白剤【本】                 | 5  |
| 施設消毒キット説明書(クリアファイル入り)【部】  | 1  |

感染者緊急対応用キット

| 品名                          | 数量 |
|-----------------------------|----|
| アイソレーションガウン【着】              | 4  |
| N95 マスク【枚】                  | 10 |
| 養生テープ【巻】                    | 1  |
| 感染者緊急対応キット説明書(クリアファイル入り)【冊】 | 1  |

要配慮者用物資

| 品名         | 数量 |
|------------|----|
| パーテーション【台】 | 3  |
| 簡易ベッド【台】   | 3  |

Aゾーン生活用キット

| 品名                      | 数量 |
|-------------------------|----|
| ポリ袋（100枚入り）【袋】          | 18 |
| ペーパータオル（200枚入り）【箱】      | 3  |
| ノンアルコールウェットティッシュ（10枚入り） | 9  |
| 電子体温計【個】                | 3  |
| 歯ブラシ（個包装）【個】            | 3  |
| 使い捨てタオル（個包装）【枚】         | 9  |
| 使い捨てスリッパ（個包装）【個】        | 6  |
| 簡易トイレ組み立て式【個】           | 3  |
| 簡易トイレ用凝固剤【個】            | 36 |

従事者用衛生用品キット

| 品名            | 数量 |
|---------------|----|
| 使い捨てマスク（従事者用） | 1  |
| 使い捨て手袋        | 1  |
| フェイスシールド      | 2  |
| 可燃ごみ（10枚入り）   | 1  |
| レインコート        | 18 |
| 使い捨てスリッパ（個包装） | 18 |



別表 7-3 備蓄物資（日赤物資）

| 品 名        | 数量 | 保 管 場 所<br>(解錠方法)            | 備 考 |
|------------|----|------------------------------|-----|
| 天幕         | 3  | 体育倉庫                         |     |
| 毛布         | 20 | 防災倉庫                         |     |
| 間仕切り＋暖ボール畳 | 5  | 防災倉庫                         |     |
| プライベートルーム  | 2  | 防災倉庫                         |     |
| 携帯トイレセット   | 1  | 防災倉庫                         |     |
| 携帯トイレセット   | 4  | 屋内防災備蓄倉庫                     |     |
| ジョイントマット   | 5  | 屋内防災備蓄倉庫：3 個<br>屋外防災備蓄倉庫：2 個 |     |
|            |    |                              |     |
|            |    |                              |     |
|            |    |                              |     |
|            |    |                              |     |
|            |    |                              |     |
|            |    |                              |     |

別表 8 施設内使用可能物品

| 品 名    | 数量 | 保 管 場 所<br>(解錠方法) | 注 意 事 項 等                                                              |
|--------|----|-------------------|------------------------------------------------------------------------|
| いす     |    |                   | 学校備品                                                                   |
| ガスストーブ |    |                   | 学校備品                                                                   |
| ブルーシート |    |                   | 学区備品                                                                   |
| テント    |    | テント倉庫             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校備品</li> <li>・学区備品</li> </ul> |
|        |    |                   |                                                                        |
|        |    |                   |                                                                        |
|        |    |                   |                                                                        |
|        |    |                   |                                                                        |
|        |    |                   |                                                                        |

※施設管理者へ指定避難所の運営に利用可能なものを確認し記載しておきましょう

(例)

長机・いす・テレビ・ラジオ・パソコン・通信機器  
 (衛星電話、無線機など)・冷暖房器具(扇風機、ストーブなど)・発電機器・照明器具・ハンドマイク・ホワイトボード・台車・車いす・ブルーシート・カラーコーン、スコップ、バケツ・食器類・段ボール・救急箱・トイレットペーパー など

別表 9 共同生活のルール

| 事 項               | 内 容                                                                                                                       |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 個々の専用スペースの割当と間仕切り | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1人2㎡とする。</li> <li>・ 備蓄倉庫内の間仕切りセットは、原則として着替えや授乳等を行うスペースが確保できない場合に使用する。</li> </ul> |
| 食料・飲料水・救援物資の配分方法  | 代表管理者の指示に従う                                                                                                               |
| トイレの利用方法          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既設トイレが使用できるときは、既設トイレを使用する。</li> <li>・ 仮設トイレは、男性用と女性用を離して設置</li> </ul>            |
| ごみの分別・排出方法        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分別後、ごみ収集場所へ</li> </ul>                                                           |
| （喫煙可能な場合の）喫煙場所    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内禁煙のため喫煙場所なし</li> </ul>                                                         |
| 起床・消灯時間           |                                                                                                                           |
| そ の 他             |                                                                                                                           |

別表 10 協議事項

| 事 項      | 内 容               |
|----------|-------------------|
| 自動車の乗り入れ | 原則禁止              |
| テントでの避難  | 運動場北側から動線を確保しつつ配置 |
|          |                   |
|          |                   |
|          |                   |
|          |                   |
|          |                   |
|          |                   |
|          |                   |
|          |                   |
|          |                   |

別表 1 1 避難所管理組織図

